

2025年度 1年前期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 生物学 講師名 李 昌一

単位数 2

授業概要	歯科衛生士業務を行う為に必要な生命医学に関わる生物に必要な基礎知識を理解し、修得する。
教科書	「歯科衛生士学シリーズ 生物学（医歯薬出版）」
副教材	「イラストでわかる歯科医学の基礎」
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/18	生命とは何か 生命科学とは？	生命、生命科学の意義を理解し、説明できる	
2. 4/23	細胞をつくる物質	細胞をつくる物質の特徴を理解し、説明できる	
3. 5/1	生命の単位Ⅰ 細胞 細胞内器官	細胞を理解し、説明できる 細胞内小器官を理解し、説明できる	
4. 5/8	生命の単位Ⅱ 細胞 細胞内器官	細胞を理解し、説明できる 細胞内小器官を理解し、説明できる	
5. 5/15	細胞の一生 細胞周期 単細胞生物と多細胞生物	細胞周期を理解し、説明できる 単細胞生物と多細胞生物を理解し、説明できる	
6. 5/29	ヒトの組織	ヒトの組織の特徴と働きを理解し、説明できる	
7. 6/19	ヒトの器官Ⅰ 消化器官系 循環器官系	消化器官系に属する器官の働きを理解し、説明できる 循環器官系に属する器官の働きを理解し、説明できる	
8. 6/26	ヒトの器官Ⅱ 呼吸器官系 泌尿器官系	呼吸器官系に属する器官の働きを理解し、説明できる 泌尿器官系に属する器官の働きを理解し、説明できる	
9. 7/3	生殖の方法 配偶子形成 減数分裂	生殖の種類と特徴を理解し、説明できる 配偶子を理解し、説明できる 減数分裂を理解し、説明できる	
10. 7/10	遺伝とその法則	遺伝の法則を理解し、説明できる 遺伝子の本体を理解し、説明できる	
11. 7/17	生命をつくる仕組み 遺伝子を働かせる仕組み	遺伝子を働かせる仕組みを理解し、説明できる	
12. 7/23	発生の過程/発生の仕組み	受精の仕組みを理解し、説明できる	
13. 7/24	刺激の受容と反応 感覚器 神経	感覚器の構造を理解し、説明できる 神経系の分類と神経細胞（ニューロン）と興奮の伝導・伝達について理解し、説明できる	

14. 9/ 4	内部環境を保つ仕組みⅠ 体液 ホメオスタシス ホルモン 自律神経	ホメオスタシスを理解し、説明できる 体液を理解し、説明できる 血球を理解し、説明できる ホルモンと内分泌腺を理解し、説明できる 自律神経系と内分泌腺を理解し、説明できる	
15. 9/ 5	内部環境を保つ仕組みⅡ 生体防御 炎症 免疫	炎症を理解し、説明できる 免疫を理解し、説明できる	

授業概要	歯科衛生士に必要な化学の基本を習得する。 予習として、教科書を読み、用語をマーカーでチェックしておくこと。 復習として、到達目標に達すること。教科書の練習問題、章末問題を解くこと。 化学は、歯科衛生士が用いる薬品や歯科材料の特徴を理解するために必須の科目です。復習に時間をとり、教科書の問題を必ず解くこと。講義は各人が予習と復習をきちんと行っている前提で行いますので、その心づもりで講義に臨んでください。わからなかったことは次の講義の前に解決するように。 ※試験には計算機能のみの計算機の持ち込みを許可します
教科書	歯科衛生学シリーズ『化学』
副教材	
評価方法	期末試験・夏休み明けに提出の宿題 そのほかに課題を設ける場合は、課題の評価を試験点数に加算する場合もある。

授業計画 () 内は教科書のページ

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/18	物質の分類 (2~4)	物質を分類できる 同素体とは何か、例を挙げて説明できる	
2. 4/23	物質の構造 (4~7)	原子とは何か説明できる 物質をつくる原子のあり方について説明できる 分子とは何か説明できる	
3. 5/2	原子の電子配置 (7~11)	原子とは何か説明できる 物質をつくる原子のあり方について説明できる 分子とは何か説明できる	
4. 5/9	元素の周期律 (11~14)	元素とは何か理解し、元素の周期表について説明できる 周期表に基づいた元素の性質について説明できる	
5. 5/16	物質質量 (14~16)	原子量、分子量、式量が何か説明できる 物質量を計算できる モルとは何か、説明できる	電卓
6. 5/23	化学結合 (16~23)	化学結合の種類について、例を挙げて説明できる	
7. 5/30	気体について知ろう (26~31)	気体とは何か、分子の姿から説明できる 気体の性質について説明できる 計算ができる	
8. 6/6	空気は何から 気体を使う (31~39)	気体の具体的な例を挙げられる それぞれの気体について特徴や性質を説明できる	
9. 6/13	物質が水に溶けるとは 水溶液の濃さの表し方 (42~53)	水溶液とは何か、原子や分子の姿から説明できる 薬品による濃度の表し方について説明できる	電卓
10. 6/20	濃度計算の考え方	濃度を計算できる 水溶液を希釈することができる	電卓
11. 6/27	希薄水溶液の示す不思議な 性質 身のまわりにはコロイドが	希薄水溶液の特徴的な性質を挙げられる コロイドとは何か、水溶液と違う点を挙げ、コロイドを説明できる	

	いっぱい (53~67)	コロイドを分類できる	
12. 7/4	酸とアルカリの水溶液 (63~76)	酸とアルカリとは何か、説明できる 酸とアルカリの強弱、pH について説明できる 中和反応を理解し、中和反応の化学式を作ることができる	
13. 7/11	酸化とは、還元とは (80~85) 化学反応では原子の組換え が起きている (88~95)	酸化数について説明できる 酸化数の変化と酸化、還元について関連づけることができる 金属のイオン化傾向とは何か、説明できる 電池について、説明できる 化学反応とは何か、説明できる 化学反応式をつくることができる	
14. 7/18	有機化合物とは何だろう (98~127)	有機化合物とは何か、説明できる いくつかの有機化合物について、歯科の現場での 使用例をあげることができる	
15. 9/5	ヒトをつくっているものは 何だろう (130~163)	ヒトをつくる物質にどのようなものがあるか、説明 できる 各物質について、ヒトのからだでどんなはたらき をしているか、説明できる	

2025年度 1年前期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 情報コミュニケーションⅠ 講師名 大竹正美 単位数 2

授業概要	情報および情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報を適切に取捨選択し、効果的に表現する力とコミュニケーション能力を養う。 課題作品は校内ネットワークサーバーの各自フォルダ内とUSBメモリに保存する。 ▶USBメモリは各自で用意し、毎回持参
教科書	
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験：筆記試験（3割）、実習（7割）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/14	授業概要説明、ネットワーク利用、検索	本校のネットワーク環境を理解し、適切なファイル操作と情報の検索・収集ができる。	TAKI USB ㄕㄗ
2. 4/21	プレゼンテーション（企画立案）	プレゼンテーションについて学び、自己紹介の構成と流れを考え、企画立案することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
3. 4/28	プレゼンテーション（情報収集）	著作権について正しく理解した上で、必要な情報をネットや書籍などから収集することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
4. 5/12	プレゼンテーション（資料作成）	プレゼンソフト（Power Point）を活用し、プレゼンテーションの資料（発表資料）を作成できる。	TAKI USB ㄕㄗ
5. 5/19	プレゼンテーション（資料作成）	効果的な表現力を身につけ、視覚的にわかりやすい発表資料を作成することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
6. 5/26	プレゼンテーション（リハーサル）	リハーサルを行い、発表内容と表現力を高め、自信を持って本番の発表に臨むことができる。	TAKI USB ㄕㄗ
7. 6/ 2	プレゼンテーション（発表）	自己紹介をプレゼンテーションの形で発表し、自己・相互評価することができる。（次回に続く）	TAKI USB ㄕㄗ
8. 6/ 2	プレゼンテーション（発表・まとめ）	発表後に振り返りを行い、次回に向けた改善点を見つけることができる。	TAKI USB ㄕㄗ
9. 6/ 9	データ処理（基礎）	表計算ソフト（Excel）を活用し、数値情報の取り扱いについて学び、基本的なことが説明できる。	TAKI USB ㄕㄗ
10. 6/16	レポート作成（作成）	文書作成ソフト（Word）を活用し、レポート作成に必要なスキルを身につけることができる。	TAKI USB ㄕㄗ
11. 6/23	データ処理（表・グラフ作成）	歯科関連の数値データを用いて、表とグラフを作成することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
12. 6/30	データ処理（考察・発表準備）	作成したグラフから読み取れることを考察し、説明できるように発表の準備をする。	TAKI USB ㄕㄗ
13. 6/30	データ処理（発表）	作成したグラフを使って発表を行い、互いに評価し合いながら知識を共有することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
14. 9/ 1	レポート作成（レイアウト）	スキルを活かしてレポートのレイアウトを整え、読みやすいレポートを作成することができる。	TAKI USB ㄕㄗ
15. 9/ 8	レポート作成（完成）	「総合研究」のレポートを提出できるよう、完成させることができる。	TAKI USB ㄕㄗ

2025年度 1年後期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 情報コミュニケーションⅡ 講師名 大竹 正美 単位数 1

授業概要	情報コミュニケーションⅠの発展学習として、コンピュータ・ネットワークの活用を通してITスキルと表現力、コミュニケーション能力を高め、情報モラルについての理解を深める。また、他の教科や研究発表等でも応用できるITスキルを身に付け、将来実務でも活用できる力をつけるようにする。 課題作品は校内ネットワークサーバーの各自フォルダ内とUSBメモリに保存する。 ▶USBメモリは各自で用意し、毎回持参
教科書	
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験：筆記試験（3割）、実習（7割）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	ポスター （企画立案～作成）	ポスターに関する基礎知識を身につけたうえで、対象者に応じた歯科保健指導用ポスターの原案を企画立案し、作成することができる。	TAKI USBメモリ
2.	ポスター （完成～レポート作成）	視覚的にわかりやすい歯科保健指導用ポスターを完成させ、ポスターで表現したことが伝わるようなレポートを作成することができる。	TAKI USBメモリ
3.	情報モラル （現状把握）	情報化や情報技術の進展が社会に果たす役割と及ぼす影響について理解し、深刻化するネットトラブルの現状について把握することができる。	TAKI USBメモリ
4.	ポスター（発表）	歯科保健指導のポスターセッション（ポスターを用いたプレゼンテーション）を行い、自己・相互評価することができる。	TAKI USBメモリ
5.	情報モラル （事例紹介）	情報モラルの各テーマの中から2つの具体的事例（実体験や情報収集による事例）を挙げ、現状の問題を明らかにすることができる。	TAKI USBメモリ
6.	情報モラル （問題解決）	問題解決手法を理解したうえで、問題解決（具体的事例を挙げて問題点を明確化し、その原因を究明して対策を講じる）にあたることができる。	TAKI USBメモリ
7.	情報モラル （レポート作成）	レポートの作成を通して、情報モラルの重要性を認識し、情報モラルに関わる問題を自分の問題として捉え、解決を図っていくことができる。	TAKI USBメモリ
8.	総まとめ（45分授業）	これまでの授業内容を振り返り、理解度を確認するとともに、各自がこれまで授業で作成した全課題作品を見直し、完成度を高める。	TAKI USBメモリ

2025年度 1年後期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 コミュニケーション能力Ⅰ 講師名 池田雅彦 単位数 1

授業概要	人間関係（対人関係）をより良くするために、自己の持ち得る「関係力」について気づきの 楽習（学習）効果を向上させる最新トレーニングを通して「関係力」の向上を図っていくこ とを目的とする。
教科書	ありません
副教材	プリント資料、映像資料等
評価方法	期末試験＝授業レポート（1回）の提出で評価（8回目の授業内で提出）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	コミュニケーションについて の理解	コミュニケーションの基本・雑談がいかに大切な のかに気づくことができる。	TK ホール
2.	自分の人間（対人）関係の 在り方に気づく	人間（対人）関係力のチェックおよび分析を行い、 自分に気づくことができる。	TK ホール
3.	コミュニケーション分析 （1）	「関係力」とは何かを理解し、自己開示（自分を ありのままに伝えること）することができる。	TK ホール
4.	コミュニケーション分析 （2）	自分の魅力に気づくことで、自己表現力を向上さ せることが出来るようになる。	TK ホール
5.	コミュニケーション分析 （3）	人に酔掛ける人間（対人）関係のヒントら自分に 合ったトレーニング方法を実践できるようにす る。	TK ホール
6.	メンタルトレーニング	メンタルを強くするための方法を学習し、自己の 弱みを克服できるようにする。	TK ホール
7.	福祉領域を含めた高齢者との コミュニケーション術	対象に合わせたコミュニケーションスキルを学 び、活用できるようにする。	TK ホール
8.	授業のまとめと今後の自己 課題の対応方法について	授業のまとめおよび人間（対人）関係に対しての 自信が持てるようになる。 ※レポート提出	TK ホール

2025年度 3年前期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 コミュニケーション能力Ⅱ 講師名 植野 正之 単位数 1

授業概要	現在グローバル化がいっそう進み、歯科医療の現場においても外国人の患者に接する機会が増えてきている。本授業では、歯科衛生士として日本語を母国語としない外国人の患者に対して、英語を用いて適切に対応できる基礎的なコミュニケーション能力を身につける。
教科書	なし
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4／17	Making an Appointment by Telephone	英語で患者の電話予約の対応ができる	
2. 4／24	Emergency Appointments	英語で緊急の予約の電話に対応できる	
3. 5／1	Asking the Medical History	英語で病歴を尋ねることができる	
4. 5／8	Tooth Brushing Instructions for a Child	英語で子どもに歯みがき指導ができる	
5. 5／15	Periodontal Disease	英語で歯周病について説明できる	
6. 5／22	Why Do I Need Cleaning?	英語でクリーニングの重要性について説明できる	
7. 5／29	Postoperative Instructions to the Patients	英語で患者への術後の注意ができる	
8. 6／5	Fluoride Treatment	英語でフッ化物の応用について説明できる	

2025年度 3 年前期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 コミュニケーション能力Ⅲ 講師名 高井恵美 単位数 1

授業概要	手話の学習を通して、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者に対応するコミュニケーション能力を修得する。
教科書	「手にことばを 手話テキスト 初級用」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4/17	コミュニケーション方法・挨拶 自己紹介	聴覚障害者のコミュニケーション方法を理解し、挨拶、氏名を手話で表現できる。	
2. 4/24	自己紹介・指文字	住所、趣味等を表現できる。 指文字を表現できる。	
3. 5/1	自己紹介・数詞	数詞、年齢、誕生日、家族を表現できる。	
4. 5/8	手話でスピーチ	手話で自己紹介ができる。	
5. 5/15	疑問文の手話	疑問文の手話を表現できる。	
6. 5/22	時制の手話	現在、過去、未来の時制を表現できる。	DVD 視聴あり (TAKI ホール)
7. 5/29	歯科医院での会話 感情を表す手話	歯科医院に必要な基本的な会話を表現できる。	DVD 視聴あり (TAKI ホール)
8. 6/5	まとめの試験	修得した手話の能力を確認する。	45 分

2025年度 1 年前期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 健康社会学 講師名 池田 汐里 単位数 1

授業概要	・人々が生活している場（家族、学校、職場、地域、病院など）での人間関係力を活用し、人々が健康で幸せな生活を営むことができるようになるための知識と技術を学ぶ ・ものの見方・考え方などといった社会学的視点や創造力を育む ・ヘルスプロモーションの理論と実践について学ぶ
教科書	島内憲夫・鈴木美奈子著：健康社会学講義ノート、垣内出版（2018）
副教材	
評価方法	レポート課題を期末試験として評価する。 レポートは理解度や応用力（創造力）を評価するための課題であるため、講義や調べたものをまとめるだけではなく、自分のアイデアや意見をしっかりと述べているかについても評価する。

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 5/16	オリエンテーション 健康社会学とは	・主体性と関係性の重要点を列挙できる ・健康社会学の定義について説明できる	45 分
2. 5/23	健康社会学的創造力 健康概念	・健康社会学創造力について説明できる ・健康の定義について説明できる	
3. 5/30	健康の社会化 健康行動	・健康行動の理論やモデルを説明できる ・行動変容について説明することができる	
4. 6/6	ヘルスプロモーション ・オタワ憲章 ・バンコク憲章	・WHO のヘルスプロモーションの概念について説明することができる ・オタワ憲章とバンコク憲章の相違点を述べることができる	
5. 6/13	健康と幸福・ダイバーシ ティ	・幸福の概念が説明できる。 ・幸福の決定要因について説明できる ・ダイバーシティに関する社会問題を挙げるこ とができる	
6. 6/20	健康なまちづくり 健康な家族づくり	・住民参加型の健康なまちづくりについて説明す ることができる ・家族の保健機能を列挙できる	
7. 6/27	健康な学校づくり 健康な職場づくり (CSR・健康経営)	・健康な学校づくりの概念について説明すること ができる ・健康な職場づくりの概念について説明すること ができる ・CSR と健康経営の事例を述べることができる	
8. 7/4	健康な病院づくり	・健康な病院づくりの概念について説明すること ができる ・具体的な事例を基に、ヘルスプロモーションの 5 つの活動について理解を深める	

2025年度 2年後期 講義

＜基礎分野＞ 科目名 心理学 講師名 李 正姫 単位数 2

授業概要	患者個々人に対して最適の医療を提供するため、自己理解、他者理解、ストレスマネジメント、人間の特性についての理解、対人関係づくりのスキル、精神疾患、医療安全コミュニケーションなど、多方面から医療心理学の知識を身につけられるようになる。
教科書	配布資料を教科書同様の扱いとする
副教材	なし
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	心理学とは	日常生活に心理学的知識を活用できる	
2.	交流分析（１）	自分の中の３種類の自我状態を理解し、客観的で論理的な自我状態を保持することができる	
3.	交流分析（２）	性格分析を通して自己理解が深まる	
4.	ロジャーズの傾聴	ロジャーズによって提唱された傾聴の３要素（自己一致、無条件の受容、共感）を実施できる	
5.	認知行動療法	認知行動療法を知ること、自分の思考パターンのクセを把握でき、修正できる	
6.	マインドフルネス認知行動療法	浮かんできた思考パターンをそのまま受け止めることで変化を生じさせることができる	
7.	動機づけ理論	動機づけとやる気の違いを理解し、目標達成の計画を立てて実行する	
8.	ストレスマネジメント	ストレスとは何か、ストレス反応にはどのような症状があるかを理解し、ストレス管理ができる	
9.	精神疾患	うつ病や不安症などの精神疾患の知識を身につけ、患者の理解を深めることができる	
10.	対人関係の心理学	対人関係づくりの開始・維持方略を身につけることができる	
11.	依存症	依存症のメカニズムを理解して、予防対策を身につける	
12.	認知心理学	人間の認知的バイアスを理解し、医療現場におけるヒヤリハットを減らすことができる	
13.	医療安全の心理学	チーム医療におけるコミュニケーションの注意点を理解し、ヒューマンエラーを防ぐ工夫ができる	
14.	カウンセリングマインド	共感的理解を身につけることで、やさしい医療を提供できる	
15.	睡眠と不眠	睡眠の仕組みを理解でき、不眠症状の改善が実行できる	

2025年度 1 年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 解剖学 講師名 水野潤造 単位数 2

授業概要	医療に携わる職種の歯科衛生士にとって最も基本的な知識として必要なのが解剖学である。口腔は全身の一部であるため、全身の構造と機能を理解することは口腔領域の構造と機能を理解するために必須である。また、全身疾患を有する患者の状態を理解するためにも必要となる。人体は骨、血管、神経など、さまざまな器官系からなりたっている。これら器官系ごとに特徴を学び、人体の構造の全体像を理解していく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4/16	解剖学総論	人体の構成と区分を説明できる。 解剖学で用いる用語を説明できる。 体の方向や部位を説明できる。	
2. 4/23	骨格系	骨の構造や形態を説明できる。 頭部と体幹を構成する骨の名称と構造を説明できる。	
3. 4/30	筋系	筋の構造や形態を説明できる。 頭部と体幹を構成する筋の名称と構造を説明できる。	
4. 5/7	神経系 1	神経系の概要と構成を説明できる。 脳の血管系を説明できる。	
5. 5/14	神経系 2	中枢神経系の構造と形態を説明できる。 脳と脊髄の膜を説明できる。	
6. 5/21	神経系 3	末梢神経系の構造と形態を説明できる。	
7. 5/28	神経系 4	自律神経系の構造と形態を説明できる。 神経系の伝導路を説明できる。	
8. 6/4	感覚器系	主な感覚器の構造と形態を説明できる。	
9. 6/11	循環器系 1	循環系の概要を説明できる。 心臓の位置や構造、血管を説明できる。	
10. 6/18	循環器系 2	動脈系・静脈系・リンパ系の構造と走行を説明できる。	
11. 6/25	呼吸器系	呼吸器系の概要を説明できる。 呼吸器の位置や形態、構造を説明できる。	
12. 7/2	消化器系 1	中腔性器官である消化管の形態と構造を説明できる。	
13. 7/9	消化器系 2	実質性器官である胆嚢、肝臓、脾臓の形態と構造を説明できる。	

14. 7/16	泌尿器系・生殖器系	泌尿器の形態と構造を説明できる。 生殖器の形態と構造を説明できる。	
15. 7/23	内分泌系	内分泌器官の種類や形態、構造を説明できる。	

2025年度 1 年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 口腔解剖学 講師名 水野潤造 単位数 2

授業概要	歯科衛生士にとっての専門領域である口腔を理解するため、口腔付近と歯の詳細な解剖学を学ぶことは大切である。口腔および歯、歯列の正確な形態は、歯科衛生士の業務を遂行するうえで、必須の基礎知識となる。この授業では、口腔および歯の基本的な形態と特徴、乳歯と永久歯の特徴、歯列と咬合の特徴を学習し、臨床へつながる基礎知識を獲得していく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4/18	口腔を構成する臓器	口腔の構造を説明できる。 舌および唾液腺の構造を説明できる。	
2. 5/2	頭頸部の骨	上顎骨と口蓋骨について説明できる。 下顎骨と舌骨について説明できる。	
3. 5/9	頭頸部の筋	表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋などについて説明できる。	
4. 5/16	頭頸部の脈管系 1	頭頸部に分布する動脈について説明できる。	
5. 5/23	頭頸部の脈管系 2	頭頸部に分布する静脈とリンパについて説明できる。	
6. 5/30	頭頸部の神経系 1	三叉神経系について説明できる。	
7. 6/6	頭頸部の神経系 2	顔面、舌咽神経系について説明できる。	
8. 6/13	頭頸部の神経系 3	舌下、迷走、脊髄、自律神経系について説明できる。 顎関節と下顎運動について説明できる。	
9. 6/20	歯の形態：概略	歯の構造的機能や歯式などについて説明できる。 歯の形態や特徴について説明できる。	
10. 6/27	永久歯の形態 1	永久歯の切歯・犬歯の特徴について説明できる。	
11. 7/4	永久歯の形態 2	永久歯の小臼歯の特徴について説明できる。	
12. 7/11	永久歯の形態 3	永久歯の大臼歯の特徴について説明できる。	
13. 7/18	永久歯の形態 4 乳歯の形態 1	永久歯の大臼歯の特徴について説明できる。 乳歯の特徴について説明できる。	
14. 9/3	乳歯の形態 2 異常歯	乳歯の特徴について説明できる。 異常歯の特徴について説明できる。	

15. 9/5	歯列と咬合	永久歯列と乳歯列の特徴について説明できる。 歯列と咬合の特徴について説明できる。	
---------	-------	---	--

2025年度 1年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 組織・発生学 講師名 前田 信吾 単位数 1

授業概要	組織学：動物において共通である基本的な4つの組織から臓器の微細構造および、 歯をはじめとする口腔分野の構造について学ぶ。 発生学：ヒト個体における初期発生における 口腔および歯の発生について学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ・人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ・歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
副教材	歯科衛生士書き込み式学習ノート 配布資料
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	総論(細胞・組織)	細胞の定義や基本的な構造を説明できる。 細胞と組織の違いを説明できる。	
2.	組織(全身)	上皮組織・筋組織・結合組織・神経組織の違いと 各組織系による構成された物を分類分けできる。	
3.	組織(歯)	エナメル質・象牙質・セメント質・歯髄の構造と 違いについて説明できる。	
4.	組織(歯)	エナメル質・象牙質・セメント質・歯髄の構造と 違いについて説明できる。	
5.	組織(歯根膜・歯槽骨)	歯の入る器である歯槽骨、歯を安定化する歯根膜 の違いを理解し分類分けできる。	
6.	組織(歯肉・口腔粘膜)	口腔内において 歯 以外は上皮で覆われ、歯肉・ 口腔粘膜と言われるがその違いを説明できる。	
7.	発生(口腔・歯)	大まかな口腔や歯の発生を知り、乳歯や永久歯の 発生・萌出・交換などの時期と順番を説明できる	
8.	まとめ	大まかな全身の組織、口腔内の組織や発生につい て説明できる。	

2025年度 1 年前期 講義

＜専門基礎分野＞

科目名 生理・口腔生理学

講師名 田崎雅和

単位数 2

授業概要	生体の恒常性(ホメオスタシス)を維持するための基本的な調節機構の知識を学び、生体の機能・調節機構を理解し説明できる。同様に口腔・顎顔面領域の生理的機能と調節機構を理解し説明できる。
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口組織発生学・口生理学
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/24	生物と生命現象 神経細胞	ミトコンドリア、浸透圧、生理的食塩水、脱分極、再分極、閾値を説明できる。	1-2 1-1
2. 5/1	神経(末梢神経系)	静止電位、活動電位、軸索、シナプス、自律神経、跳躍伝導、痛覚神経線維を説明できる。	1-2 1-1
3. 5/8	神経(中枢神経系)	節前・節後線維、脊髄反射、屈曲反射、伸張反射、延髄、呼吸中枢、視床下部を説明できる。	1-2 1-1
4. 5/15	筋肉	神経筋接合部、筋小胞体、興奮収縮連関、単収縮、強縮、疲労を説明できる。	1-2 1-1
5. 5/22	血液・血液凝固	体液、血球、血漿、血清、一次止血、血液凝固、血液型を説明できる。	1-2 1-1
6. 5/29	循環(心機能)	二心房二心室、自動能、興奮伝導系、心電図、血圧を説明できる。	1-2 1-1
7. 6/5	呼吸	吸気筋、スパイログラム、ヘモグロビン酸素解離曲線、呼吸中枢を説明できる。	1-2 1-1
8. 6/12	内分泌	液性調節、甲状腺、上皮小体、膵臓、副腎から分泌されるホルモンを説明できる。	1-2 1-1
9. 6/19	消化・吸収	消化管ホルモン、胃液、膵液、胆汁、膜消化、管腔内消化、蠕動、内因子を説明できる。	1-2 1-1
10. 6/26	排泄・体温	腎小体、尿細管、ネフロン、熱産生、発汗、体温調節中枢を説明できる。	1-2 1-1
11. 7/3	体性感覚・口腔感覚	体性・内臓・特殊感覚、二点弁別閾、自由神経終末、象牙質・歯髄・歯根膜感覚を説明できる。	1-2 1-1
12. 7/10	特殊感覚	味蕾、味細胞、味覚閾値、味神経線維、味覚障害、視細胞、嗅細胞、有毛細胞を説明できる。	1-2 1-1
13. 7/17	咬合と咀嚼	下顎安静位、咬頭嵌合位、筋紡錘、咀嚼能率を説明できる。	1-2 1-1
14. 7/24	摂食・嚥下	吸啜反射、嚥下反射、嘔吐反射、嚥下性無呼吸、顎反射中枢(延髄)食道期を説明できる。	1-2 1-1
15. 9/4	唾液・発音	運動性・感覚性言語中枢、パラトグラム、漿液性・粘液性唾液、原唾液を説明できる。	1-2 1-1

2025年度 1年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 生化学 講師名 坪井美行、田中秀樹 単位数 2

授業概要	各臓器の細胞レベルで行われる代謝の概要を理解し、生命維持に必要な栄養素の重要性を認識する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝」
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	細胞の役割	生物の基本単位である細胞の構造と細胞内小器官の役割を説明できる。	坪井
2.	生体における水	生体内における水の分布・性質・役割を説明できる。	坪井
3.	生体を構成する成分	生体を構成する成分の種類、構造、役割を説明できる。	坪井
4.	生体における化学反応	三大栄養素の消化吸收の過程を説明できる。	坪井
5.	糖質と脂質の代謝	生体内の主要なエネルギー源となる糖質と脂質の代謝過程を説明できる。	坪井
6.	タンパク質代謝	生体内で多様な機能をもつタンパク質の合成とアミノ酸代謝過程を説明できる。	田中
7.	生体における恒常性	生体内の恒常性維持にホルモンや自律神経系が関与していることを述べることができる。 また、血糖値を調節する仕組みを説明できる。	田中
8.	結合組織	結合組織を構成する線維性タンパク質および線維間マトリックス成分の種類と特性を説明できる。 また、それらを分解する酵素の種類を列挙できる。	田中
9.	骨代謝と血清カルシウム調節機構	・骨リモデリングのしくみを説明できる。 ・血清カルシウム調節の仕組みを説明できる。	田中
10.	歯と歯周組織	・歯と歯周組織の構造を説明できる。 ・歯の組成、歯の無機・有機成分の特性を説明できる。	田中
11.	唾液の生化学	唾液の組成と唾液中の無機・有機成分の種類と役割を説明できる。	田中
12.	ペリクルとプラーク ースクロース(ショ糖)の 為害性ー	・ペリクルの組成と役割を説明できる。 ・菌の巣窟となるプラークの形成にはスクロースの存在が深く関与すること、プラーク中に棲息する菌はう蝕や歯周疾患を引き起こす重要な因子の一つであることを説明できる。	田中
13.	う蝕発症機構	・う蝕は多因子性疾患であること、また、その発症にはプラーク中に棲息する通性嫌気性の酸産生菌が深く関与していることを説明できる。 ・フッ化物や代用甘味料がう蝕予防に有効であることを説明できる。	田中

14.	歯周疾患発症機構（生体防御機構と炎症反応）	歯周疾患の発症には歯周ポケットのプラーク中に棲息する嫌気性のグラム陰性菌が深く関与していること、また、その進行には細菌活性と生体防御反応との力関係が大きく影響することを説明できる。	田中
15.	まとめ	1～14 回のまとめ	田中

2025年度 1年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 病理学 講師名 浅野 正岳・尾曲 大輔 単位数 1

授業概要	病理学総論について学修し、後期に学習する口腔病理学の理解を深めるための準備をする。
教科書	歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学 (医歯薬出版)
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4／15	病因論・代謝障害	病理学の意義について説明できる。病因を列挙でき、退行性病変について説明できる。	浅野
2. 4／22	増殖と修復	進行性病変を学修し、退行性病変との違いを説明できる。	尾曲
3. 5／13	循環障害	充血・うっ血・虚血などについて説明できる。	浅野
4. 5／20	炎症・感染症Ⅰ	炎症の分類・特徴など基礎的概念について説明できる。	尾曲
5. 5／27	炎症・感染症Ⅱ	重要な感染症とその病態について類別することができる。	浅野
6. 6／3	免疫と免疫異常	免疫の基礎と関連する疾患について列挙できる。	尾曲
7. 6／10	腫瘍	腫瘍を類別でき、基礎的事項について説明できる。	浅野
8. 6／24	遺伝性疾患と奇形	先天異常や奇形について説明できる。	尾曲 45分 授業

2025年度 1年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 口腔病理学 講師名 浅野 正岳・尾曲 大輔 単位数 1

授業概要	口腔に生じる種々の疾患の病態について学修する。
教科書	『歯科衛生学シリーズ 病理学・口腔病理学』（医歯薬出版）
副教材	『歯科衛生士書き込み式学習ノート』（医歯薬出版）
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯の発育異常	歯の形態、数、位置、萌出の異常などについて説明できる。	浅野
2.	歯の損傷・付着物・う蝕	プラークや歯石の基礎とう蝕について説明できる。	尾曲
3.	象牙質・歯髄複合体の病変と根尖性歯周炎	歯髄の病変とそれに継発する根尖性歯周炎について類別して説明できる。	浅野
4.	歯周組織の病変	辺縁性歯周炎および治癒過程について述べ説明できる。	尾曲
5.	顎骨病変と発育異常	顎骨病変と口蓋裂などについて説明できる。	浅野
6.	口腔粘膜の疾患・口腔癌	粘膜病変および前癌病変の種類について説明できる。（特に白板症、扁平苔癬など）	尾曲
7.	嚢胞と腫瘍	各種嚢胞および腫瘍などについて類別し比較できる。（歯根肉芽腫や歯根嚢胞など）	浅野
8.	唾液腺病変・加齢変化	唾液腺病変・加齢変化に伴う病変について説明できる。	尾曲 45分

授業概要	感染症に注目が集まっている現代において、多くの情報があふれている中、医療に関わる者として微生物と感染症、予防や治療について正しい知識を習得する必要がある。特に歯科衛生士は患者の口腔内に触れる職業ゆえに、感染予防に一段と努めるべきであるため、ヒトに関わる感染症について幅広い知識の習得を目指す。 また、口腔微生物について口腔内だけでなく全身への関わりも学習し、歯科衛生士として必要な微生物の知識を深めていく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第2版
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/15	疾病と微生物	疾病の認識と微生物について説明できる。 感染と感染症の種類、感染経路についてそれぞれ列挙し、説明できる。	
2. 4/22	微生物の分類 細菌の性状と病原性	微生物の分類ができる。 微生物の基本的な構造、細菌の増殖について説明できる。	
3. 5/2	細菌の性状と病原性 細菌培養と顕微鏡観察(座学)	細菌の形態や構造を説明でき、分類できる。 グラム染色法の手順を理解し、結果を説明できる。 細菌の病原因子について説明できる。	
4. 5/9	主な病原性細菌(グラム陽性菌)	グラム陽性菌について形態による分類ができ、それぞれの特徴を説明できる。	
5. 5/13	主な病原性細菌(グラム陰性菌)	グラム陰性菌について形態による分類ができ、それぞれの特徴を説明できる。	
6. 5/20	マイコプラズマ属、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、真菌、原虫	それぞれの構造の違いと特徴を説明できる。	
7. 5/27	ウイルスの性状 ウイルス感染症	ウイルスの構造を説明できる。 ウイルスの増殖について説明できる。 ウイルスの分類ができ、代表的なウイルス感染症について説明できる。	
8. 6/3	ウイルス感染症	代表的なウイルス感染症について説明できる。	
9. 6/10	化学療法 滅菌と消毒	各感染症に適した化学療法薬を説明できる。 殺菌と静菌、滅菌と消毒の定義を説明できる。	
10. 6/24	自然免疫と獲得免疫 ワクチン	自然免疫と獲得免疫についてそれぞれ説明できる。 ワクチンの種類を列挙し、違いを説明できる。	
11. 7/1	液性免疫	抗原と抗体について説明できる。 抗体の種類を列挙し、違いを説明できる。 補体の役割を説明できる。	
12. 7/8	細胞性免疫 アレルギー	細胞性免疫について説明できる。 アレルギーの種類を列挙し、違いを説明できる。	

13. 7/15	口腔細菌叢	口腔内環境と口腔細菌について説明できる。 プラークの形成機序を説明できる。	
14. 7/22	う蝕と歯周病	う蝕と歯周病の病状と病原因子を説明できる。	
15. 9/2	口腔感染症	口腔感染症についてそれぞれの特徴を説明できる。	

2025年度 1年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 栄養学 講師名 高野由美子 単位数 1

授業概要	歯科衛生士が行う食生活指導に必要な栄養学の基本的知識を習得する。 ・各栄養素の役割と望ましい摂取量の基準を学ぶ。 ・口腔や歯の形成に関わる栄養素との関係を学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
副教材	食品成分表 2020 年版 (八訂) 女子栄養大学出版部 配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	栄養の基礎知識	・五大栄養素の種類と役割を説明できる。 ・日本人における栄養摂取状況を説明できる。	
2.	食事摂取基準	・日本人の食事摂取基準(2020 年版)に示されたエネルギーと栄養素の各指標を説明できる。 ・エネルギー産生栄養素バランスを説明できる。	
3.	栄養素の働きⅠ 糖 質	・糖質の種類を類別できる。 ・糖質の働き・必要量・給源を述べることができる。 ・糖質とう蝕の関係を説明できる。	
4.	栄養素の働きⅡ タンパク質	・タンパク質の種類を類別できる。 ・タンパク質の働き・必要量・給源・栄養価を述べることができる。	
5.	栄養素の働きⅢ 脂 質	・脂質の種類、脂肪酸の種類を類別できる。 ・脂質の働き・必要量・給源を述べることができる。	
6.	栄養素の働きⅣ ビタミン	・ビタミンの種類を類別できる。 ・各ビタミンの働き・給源・欠乏症を述べることができる。	
7.	栄養素の働きⅤ ミネラル	・ミネラルの種類を類別できる。 ・各ミネラルの働き・給源・欠乏症を述べることができる。	
8.	栄養素の働きⅥ 水・食物繊維	・水の働き・代謝・必要量を述べることができる。 ・食物繊維の種類を類別できる。 ・食物繊維の働き・必要量・給源を述べることができる。	45分

2025年度 2年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 薬理学 講師名 横山史織 単位数 2

授業概要	歯科衛生士業務を行う上で必要な、歯科臨床に関わる薬物の性質、薬理作用、作用機序、副作用を理解する。また、様々な背景をもつ患者を対応する為、循環器疾患や糖尿病などの基礎疾患およびそれらの治療薬に関する知識も修得する。薬理学では、1年生で学習した専門基礎分野の知識を臨床につなげていく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版
副教材	イラストでわかる歯科医学の基礎
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/18	人体の構造と機能 薬理学とは	薬理作用を学ぶ上で必要な人体に関する知識を修得し説明できる。	
2. 4/25	薬物療法 薬理作用 薬物の作用機序	薬物療法および薬物の作用機序の様式について説明できる。	
3. 4/30	薬物用量 投与方法	薬物の用量と作用の関係について説明できる。 薬物用量反応曲線について説明できる。 無効量、有効量、ED50、中毒量、LD50、致死量について説明できる。 安全域(治療係数)を算出できる。 薬物の投与経路および適用方法について説明できる。 剤形の種類と特徴について説明できる。	
4. 5/7	薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。	
5. 5/16	血中濃度曲線 バイオアベイラビリティ 生物学的半減期 ライフステージと薬物	バイオアベイラビリティ、生物学的半減期について説明できる。 ライフステージ(妊婦、授乳婦、小児、高齢者、有病者)と薬物について説明できる。	
6. 5/23	薬物連用 薬物併用 薬物相互作用 有害作用	薬物連用による耐性、薬物依存について説明できる。 薬物併用による協力作用、薬物相互作用について説明できる。 副作用(有害作用)について説明できる。	
7. 5/28	医薬品の分類と薬物の取り扱い	医薬品医療機器等法について説明できる。 毒薬、劇薬、普通薬、麻薬の表示法と保管法を説明できる。 日本薬局方について説明できる。 処方せんの記載要件について説明できる。	
8. 6/6	中枢神経に作用する薬物	中枢神経に作用する薬物(全身麻酔薬、向精神薬)について説明できる。 ベンゾジアゼピン系薬物の作用機序および関連する受容体について説明できる。	
9. 6/11	末梢神経に作用する薬物	末梢神経に作用する薬物について説明できる。 自律神経に関与する神経伝達物質(ノルアドレナリン、アセチルコリン)と受容体(アドレナリン α 受容体、アドレナリン β 受容体、ムスカリン受容体)について説明できる。	

10. 6/18	局所麻酔薬 麻薬性鎮痛薬	局所麻酔薬の薬理作用、臨床応用について説明できる。 麻薬性鎮痛薬について説明できる。	
11. 6/27	抗アレルギー薬 ステロイド性抗炎症薬 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) 解熱鎮痛薬	I 型アレルギーの発生機序および抗アレルギー薬について説明できる。 アラキドン酸カスケードについて理解し、ステロイド性抗炎症薬と非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬(アセトアミノフェン)についてそれぞれの機序を説明できる。	
12. 7/4	呼吸器系に作用する薬物 循環器系に作用する薬物 利尿薬 抗悪性腫瘍薬	呼吸器系に作用する薬物(気管支喘息治療薬)について説明できる。 循環器系に作用する薬物(降圧薬、不整脈治療薬、心不全治療薬、狭心症治療薬)について説明できる。 腎臓に作用する薬物(利尿薬)について説明できる。 抗悪性腫瘍薬について説明できる。	
13. 7/11	止血薬 抗血栓薬	止血機構(一次止血と二次止血)を説明できる。 局所性止血薬および全身性止血薬についてそれぞれ説明できる。 抗血小板薬、抗凝固薬、血栓溶解薬についてそれぞれ説明できる。	
14. 7/18	抗菌薬 消毒薬	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬についてそれぞれ説明できる。 消毒薬について分類でき、適応を説明できる。	
15. 9/5	ビタミン、ホルモン 糖尿病治療薬 骨粗鬆症治療薬 消化器系に作用する薬物	ビタミン、ホルモンの薬理作用についてそれぞれ説明できる。 代謝性疾患(糖尿病、骨粗鬆症)の治療薬について説明できる。 消化器系に作用する薬物について説明できる。	

2025年度 1年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 衛生・公衆衛生学 講師名 宋 文群 単位数 2

授業概要	衛生学は疾病を予防し健康を保持増進することによって人としての機能や能力を十分発揮できるようにするための学問である。健康と予防医学の概念、人を取り巻く自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学習する。 具体的には人口問題や環境変化による健康影響、健康にかかわる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保健生態学」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験にて評価を行う。

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/16	総論	健康の概念を説明できる。 予防医学の概念を説明できる。 地域保健の新たな概念を説明できる。	
2. 4/23	人口	人口の推移と年齢別人口構造の変化を説明できる。 人口動態統計と動態統計を説明できる。 平均余命、平均寿命、健康寿命を説明できる。	
3. 4/30	健康と環境①	空気の性状と健康について説明できる。 水と健康を説明できる。 放射線と健康を説明できる。 住居・衣服と健康を説明できる。	
4. 5/ 7	健康と環境②	地球環境と健康について説明できる。 公害と健康への影響を説明できる。 廃棄物の分類と処理の流れを説明できる。	
5. 5/14	感染症	感染症成り立ちの三要因を説明できる。 感染症予防の基本概念と予防対策を説明できる。 主な感染症の発生動向を説明できる。	
6. 5/21	食品と健康	食中毒の疫学を説明できる。 食中毒の分類と発生動向を説明できる。 国民栄養の現状と問題点を説明できる。	
7. 5/28	地域保健・公衆衛生①	地域社会と健康を説明できる。 地域保健の概念を説明できる。 地域保健の組織を説明できる。	
8. 6/ 4	地域保健・公衆衛生②	地域保健活動の進め方を説明できる。 健康日本21と地域増進法を説明できる。 主な地域保健福祉関連施策を説明できる。	
9. 6/11	母子保健	母子保健の目的と意義を説明できる。 母子保健活動と対策を説明できる。 乳幼児健康診査を説明できる。	
10. 6/18	学校保健	学校保健の意義と特徴を説明できる。 学校保健の行政組織と関係法規を説明できる。 学校保健職員と役割を説明できる。 学校保健の3領域を説明できる。	
11. 6/25	成人保健	成人保健の意義を説明できる。 主な生活習慣病の動向を説明できる。 成人保健対策を説明できる。	

12. 7/ 2	産業保健	産業保健の意義を説明できる。 産業保健の管理体制を説明できる。 産業保健対策を説明できる。	
13. 7/ 9	高齢者保健	高齢者保健の現状と意義を説明できる。 高齢者保健福祉対策を説明できる。 介護保険制度について理解し、概要を説明できる。	
14. 7/16	精神保健	精神保健の意義を説明できる。 ライフステージにおける精神保健を説明できる。 地域精神保健福祉対策を説明できる。 精神保健活動の現状を説明できる。	
15. 9/ 3	まとめ、振り返り学習	これまでの授業内容を振り返り学習し、理解度を確認するとともに、試験に向けて練習問題を解くことができる。	

2025年度 1年後期

＜専門基礎分野＞ 科目名 予防歯科学 講師名 戸田 真司 単位数 2

授業概要	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には疾病異常の原因、予防に関する科学的事実と基礎を正しく理解し、必要な知識と技術を身につけ、患者の教育と指導の実践の能力を修得する。
教科書	「歯科衛生士テキスト・口腔衛生学―口腔保健統計を含む―（学建書院）第4版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	口腔衛生学の意義、歯・口腔の健康と機能	・口腔保健の概要と健康の概念を説明できる。 ・予防の3相5段階を説明できる。 ・咀嚼の意義を説明できる。	
2.	歯・口腔の発育変化	・歯と口腔の機能を説明できる。 ・歯と口腔の発育変化を説明できる。 ・歯の形成に必要な栄養素と役割を説明できる。	
3.	口腔環境	・唾液の作用を説明できる。 ・ペリクルの意義と特徴を説明できる。 ・エナメル質の萌出後の成熟現象を説明できる。 ・口腔常在菌の分布の概要を説明できる。	
4.	歯・口腔の付着物・沈着物（1）	・プラークの形成機序と特徴を説明できる。 ・マテリアルバの特徴を説明できる。 ・プラークの成熟による口腔細菌叢の変化を説明できる。 ・食物残渣とプラークとの関連を説明できる。	
5.	歯・口腔の付着物・沈着物（2）	・歯石形成機序と特徴を説明できる。 ・着色性沈着物の特徴を説明できる。 ・舌苔の特徴と清掃法を説明できる。	
6.	口腔清掃（1）	・プラークコントロールの意義を説明し、口腔清掃法を分類できる。 ・歯ブラシの構成を説明できる。	
7.	口腔清掃（2）	・口腔清掃の補助清掃用具の特徴を説明できる。 ・歯磨剤と洗口剤を分類し、成分と機能を説明できる。	
8.	口腔清掃（3）	・ブラッシングの方法と特徴を説明できる。 ・歯垢染色剤を分類できる。 ・舌・口腔粘膜の清掃を説明できる。	
9.	う蝕の予防（1）	・う蝕の発生要因と発生機序を説明できる。 ・う蝕における脱灰と再石灰化平衡を説明できる。	
10.	う蝕の予防（2）	・う蝕活動性試験を分類し、特徴と判定方法を説明できる。 ・う蝕予防の3相5段階を説明できる。	
11.	歯とフッ化物（1）	・フッ化物の意義と自然界での分布を説明できる。 ・フッ化物の代謝と急性毒性を説明できる。	
12.	歯とフッ化物（2）	・フッ化物の慢性毒性を説明できる。 ・フッ化物によるう蝕予防機序を説明できる。 ・フッ化物応用の歴史を説明できる。	
13.	歯とフッ化物（3）	・フッ化物全身応用と局所応用を分類し、特徴を説明できる。 ・フッ化物応用によるう蝕予防効果を説明できる。	

14.	歯周疾患の予防	・歯周疾患を分類できる。 ・歯周疾患の発生要因とリスクファクターを列挙できる。 ・歯周疾患予防の３相５段階を説明できる。	
15.	口臭・不正咬合・他疾患の予防	・不正咬合の特徴と予防方法を説明できる。 ・口臭の特徴と予防方法を説明できる。 ・その他の歯科疾患の特徴と予防方法を説明できる。	

2025年度 2年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 衛生行政 講師名 入江浩一郎 単位数 1

授業概要	この講義の一般目標は、「歯科衛生を行うために、日本の保健・医療・福祉の制度と医事法制を理解し、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得する」ことです。 歯科衛生士法をはじめ、歯科衛生士に関わる法律や医療保険などの社会の仕組み、国民医療費といった医療の動向について学修します。
教科書	・歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健・医療・福祉の制度 ・歯科衛生士書き込み式学習ノート② 社会歯科系科目編 2024 年度 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み pp. 130-163
副教材	歯科六法コンメンタールー歯科関連法律の逐条解説ー〔第2版〕
評価方法	期末試験（筆記試験：多肢選択式）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯科衛生士法	歯科衛生士法について説明できる。	45 分
2.	歯科医師法 歯科技工士法	歯科医師法について説明できる。 歯科技工士法について説明できる。	
3.	医療法	医療法について説明できる。	
4.	医療関係職種	医療関係職種について説明できる。	
5.	その他関係法規	地域保健に関する法律について説明できる。 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。 その他の衛生法規について説明できる。	
6.	社会保障制度 医療保険	社会保障制度について説明できる。 医療保険について説明できる。	
7.	介護保険	介護保険について説明できる。	
8.	年金保険 社会福祉 医療の動向	年金保険について説明できる。 社会福祉について説明できる。 医療の動向について説明できる。	

2025年度 2年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 社会福祉 講師名 浅見雅人 単位数 1

授業概要	児童福祉法、障がい者福祉関連法、老人福祉法、介護保険制度、対人援助を含めて社会福祉の全般の授業となる。書類様式はパワーポイントにて授業を進行する。毎回簡単な課題を解いて頂き、授業内容の理解力を高める。歯科衛生士として社会福祉はどのような関連性があるのか？しっかり学んでいく。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度
副教材	配布プリントの参考文献
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/8	憲法25条 生存権とは	日本国憲法 25 条の生存権では条文と原点を意識し、生きる権利を説明できる。	
2. 5/15	児童福祉法・児童虐待防止法・その他の制度について	現在の日本の児童福祉の現状を学び、主に児童虐待という社会問題ある現実を理解し、虐待を発見した際、どのような行動をするべきか説明できる。	
3. 5/22	障がい者福祉の大切な視点について	障がい者をマイナスだけでなく、いかにプラスの面が多いかを理解し、健常者及び障がい者が一緒に過ごせる共生社会の大切さに気づき、平等とは何かを説明できる。	
4. 5/29	介護保険の申請から要介護及び要支援の認定の流れについて	介護保険制度の創設の意義と高齢化社会がどのような方向性に向かっていくかと申請から利用に至るまでのプロセスを説明できる。	
5. 6/5	介護保険制度によるサービスの種類について	在宅サービスと施設サービスの大枠を確認し、市町村及び都道府県が中心に取り組んでいるサービス内容と各専門職と機関を説明できる。	
6. 6/12	地域間との連携と高齢者施設及び事業者について	老人福祉法との関連も含めながら、介護保険施設と在宅サービスの具体的に何が違うのかを認識し、地域間での連携のしくみを説明できる	
7. 6/19	他者との向き合う姿勢とは	人間として魅力的な評価を他者から受ける為には福祉の視点である。対人相談援助スキルを学ぶことが重要であり、一般的援助と専門家としての対人援助とはなにが違いかを比較できる	
8. 6/26	社会福祉の総まとめ	いままで学んできた相談の受ける体制を総括し、説明できる。	まとめ 45分

2025年度 1 年前期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 地域歯科保健活動論 講師名 戸田 真司 単位数 2

授業概要	歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。具体的には地域における各種歯科保健活動について修得する。
教科書	「歯科衛生士テキスト・口腔衛生学—口腔保健統計を含む—（学建書院）第4版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4／17	地域歯科保健（1）	・地域社会と地域歯科保健の概念を説明できる。	
2. 4／24	地域歯科保健（2）	・地域保健に関わる組織について説明できる。 ・地域保健法に基づく地域保健の施設を説明できる。	
3. 5／2	地域歯科保健（3）	・地域歯科保健活動の進め方を説明できる。 ・健康日本 21 の意義と目標を説明できる。 ・歯科口腔保健推進法を説明できる。	
4. 5／8	地域歯科保健（4）	・地域歯科保健活動を担う地方公務員について説明できる。	
5. 5／15	母子歯科保健	・妊産婦と乳幼児の歯科口腔保健の特徴を説明できる。 ・幼児の法定歯科健康診査を説明できる。	
6. 5／22	学校歯科保健	・学校保健の領域を分類できる。 ・学校三師の役割を説明できる。 ・学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	
7. 5／29	産業歯科保健	・産業保健の仕組みを説明できる。 ・職業性歯科疾患の特徴と予防を説明できる。 ・職域における健康保持増進対策を説明できる。	
8. 6／6	成人歯科保健	・各種法律に基づく成人の歯科口腔保健事業を説明できる。	
9. 6／12	高齢者歯科保健	・各種法律に基づく高齢者の歯科口腔保健事業を説明できる。	
10. 6／26	要介護者・障害者歯科保健	・要介護者・障害者の歯科口腔保健を説明できる。	
11. 6／27	災害時の歯科保健	・災害時の歯科口腔保健を説明できる。	
12. 7／4	国際歯科保健	・国際歯科口腔保健を説明できる。	
13. 7／10	歯科疾患の疫学特性	・歯科疾患の疫学的特徴を説明できる。	
14. 7／17	調査と統計	・標本調査について説明できる。 ・令和 4 年（第 12 回）歯科疾患実態調査の概要を説明できる。 ・歯科保健に関する国家統計調査を説明できる。	
15. 9／2	地域歯科保健のまとめ	・地域歯科保健活動に必要な知識を分類・整理できる。	

2025年度 2年後期 講義

＜専門基礎分野＞ 科目名 保健情報統計学 講師名 宋 文群 単位数 2

授業概要	統計学における基本的なものの考え方、見方を学修することによって、図や表に示されている数字や事実を根拠に歯科口腔保健について考えていく姿勢と、科学的かつ論理的な思考力を養うことが本教科のねらいである。 歯科疾患や口腔清掃状態等の指標とその意味及び統計データのまとめ方・整理の仕方・分析方法を学修し、科学的で根拠のある歯科口腔保健実践の基礎的能力を養う。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学」
副教材	なし
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	保健情報と保健統計	データと情報の違いを説明できる。 EBM の手順を理解し、説明できる。	
2.	保健情報と疫学①	疫学の定義、目的、病因論を説明できる。 疫学の研究方法を類別し、説明できる。	
3.	保健情報と疫学②	有病率、罹患率を説明できる。 スクリーニング検査の指標を説明できる。 敏感度、特異度を算出できる。	
4.	歯科疾患の指数① う蝕の指数	う蝕の指数を説明できる。	
5.	歯科疾患の指数② 歯周疾患の指数	歯周疾患の指数を説明できる。	
6.	歯科疾患の指数③ 口腔清掃状態の指数	口腔清掃状態の指数を説明できる。 歯のフッ素症指数を説明できる。	
7.	保健情報の分析手順	質問紙作成法を説明できる。 母集団と標本、標本抽出法を説明できる。	
8.	保健統計の方法①	データの尺度を類別できる。 データの代表値、散布度を選択できる。 相関関係を説明できる。	
9.	保健統計の方法②	検定と帰無仮説について説明できる。	
10.	保健統計の方法③	数値の特徴や分布に応じた検定を選択できる。	
11.	保健統計の分析演習①	検定の流れを述べることができる。 t 検定について説明できる。	
12.	保健統計の分析演習②	χ^2 （カイ二乗）検定について説明できる。 図表の種類と特徴を説明できる。	
13.	保健統計の分析演習③	図表作成の基本事項を説明できる。 適切な図表を作成できる。	

14.	情報の保護と倫理 歯科疾患の指数のまとめ	個人情報の扱いを知ることができる。 情報モラルを理解できる。 歯科疾患の指数全般について説明できる。	
15.	まとめ、振り返り学習	振り返り学習し、演習問題を解くことができる。	

2025年度 2年後期 演習

＜専門基礎分野＞ 科目名 介護の基本 講師名 福田舞子 単位数 1

授業概要	高齢者等を主体とした介護の基本的な技術と知識を学ぶことで対応方法を理解できる。更に介護技術として車いすや介助歩行及び一般的な移動介助の方法を実践することで患者に寄り添ったケアができ、高齢者等の心の悩みや不安に寄り添った心遣いや思いやりや受け止め方、などの対応方法を学んでいく。
教科書	介護職員初任者研修課程テキストところとからだのしくみと生活支援技術
副教材	介護・福祉サービスの理解 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	介護の心構え 地域での役割	介護の基本的な考え方を理解し、 地域での役割を説明できる。	
2.	高齢者等への適切な接し方	介護に関する高齢者等の基礎的な現状を理解し、 年齢からくる心身の衰えや老年期の生きがいと何かを説明することができる。	
3.	老化と認知症状の理解	DVD視聴や講義にて説明。認知症とは何か、老化の物忘れと何が違うのか考察することができる	
4.	ボディメカニクス 身支度に関する自立に向けた介護	自然な動きを妨げない介助方法を知り、体への負担を軽減できる仕組みを知る。基本的な身支度の方法や個々の障がいによって衣服の脱ぎ着の介助方法が違うことを理解し、障害があっても少しでも自力で身支度が整えられる方法を説明できる。	
5.	移動・移乗に関する基礎知識	移動・移乗に関する基礎知識を知り、安全安楽な介助方法を説明できる。	
6.	移乗・立ち上がり動作の分析	立ち上がり動作の分析を行い、自然な体の動きを理解し、安全安楽な介助方法を説明できる。	45分
7.	車椅子移動	車椅子の点検動作と、車椅子を操作することで、安全な移動ケアとは何かを説明できる。	TAKI ホール 車いす 操作方法 確認
8.	快適な住環境と介護	自宅で過ごす高齢者の身体動作は個々によって違う為、住環境の改善を行っていない状況と行っている状況を介護の方法に照らして比較できる。	

※演習を行う時の服装や持ち物は、授業内で説明します。

2025年度 1年前期 講義

＜専門分野＞ 科目名 歯科衛生士概論Ⅰ 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

授業概要	健康支援者としての歯科衛生士の業務、役割、倫理、活動の場、心構えを理解する。 歯科衛生過程の概要を理解する。
教科書	下記「持ち物」に記載
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験
履修上の注意	テキストはないため、歯科衛生士概論用のプリントファイルを用意し、テキストとして扱う。プリントは2年、3年でも継続して使用するので授業順にファイルしておく。 全時間出席が原則。 教授要項を確認し、忘れ物の無い様にすること。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	持ち物	備考
1. 4/14	歯科衛生と健康	・ 歯科衛生とは何かを理解する。 ・ 健康の意味、考え方を理解する。 ・ 健康をサポートするために歯科衛生士が行うことを説明できる。 ・ 歯科衛生士の業務（歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導）の概要を知る。	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	
2. 4/21	歯科衛生士の誕生と歯科衛生士法	・ 歯科衛生士の誕生の時期と経緯を説明できる。 ・ 歯科衛生士法、第1条、第2条、第3条の要点を説明できる。 ・ 歯科衛生士法、第2条、第3条の改訂の時期と理由を説明できる。 ・ 業務独占、名称独占の意味を説明できる。 ・ 3大業務を業務独占、名称独占に分類できる。	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	
3. 4/28	歯科衛生士の素養 歯科衛生士教育	・ 歯科衛生士として身につけておかねばならない態度について理解できる。 ・ 歯科衛生士教育の変化と現在の教育内容を説明できる。 ・ 国家試験の概要を知る。		
4. 5/12	医療従事者の倫理と歯科衛生士の責務1	・ 医療・歯科医療の特性を知る。 ・ 歯科衛生士の責務について理解できる。 ・ 倫理とは何かを理解できる。 ・ 医の倫理と患者の権利を理解できる。		
5. 5/19	医療従事者の倫理と歯科衛生士の責務2	・ 歯科衛生士としての倫理を理解できる。 ・ 安全管理について理解できる。 ・ 事故防止対策について理解できる。 ・ 専門職を目指し学ぶ者としての心構えを考える。		
6. 5/26	歯科衛生士の活動の場	・ 歯科衛生士の就業者数の現状を知る。 ・ 歯科衛生士が勤務する場とそこにおける業務の概要を説明できる。	電卓	
7. 6/9	歯科衛生過程	・ 歯科衛生過程の定義・目的を述べる。 ・ 歯科衛生過程を構成する6つの要素を挙げる。 ・ 歯科衛生過程の6つの要素の概要を述べる。 ・ 情報収集の手段・内容を挙げる。 ・ 情報の種類（主観的情報、客観的情報）を説明できる。	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」	
8. 6/23	定期試験（50分） 試験解説			

2025年度 2年後期

＜専門分野＞ 科目名 歯科衛生士概論Ⅱ（歯科衛生過程） 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

一般目標	歯科衛生士として科学的根拠に基づいた業務を行うために、歯科衛生過程の理論と実際を理解する。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント
評価方法	期末試験 提出物
履修上の注意点	プリントは歯科衛生士概論用のプリントファイルに授業順にファイルしておく。 歯科衛生過程は連続で演習をおこなうため、欠席をすると次の回の理解ができなくなる。自己管理に留意し欠席をしないこと。提出物は指示通り提出すること。（未提出は、授業終了とならない）
持ち物	3色ボールペン（マーカー等色分けができる物用意） プリントファイル（配布プリント一式）

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	演習プリント
1.	歯科衛生過程理論	・歯科衛生過程の目的を説明できる ・歯科衛生過程の5つのプロセス、6つの構成を説明できる ・Darby と Walsh のヒューマンニーズ概念モデルを理解できる	
2.	アセスメント(1) 情報の整理・分類	・ヒューマンニーズ概念モデルに沿った情報の整理・分類法を説明できる	情報の整理・分類
3.	アセスメント(2) 情報の解釈・分析	・情報の分析、解釈の方法を説明できる ・「データ不足」「強み」の意味を説明できる	情報の解釈・分析
4.			
5.	歯科衛生診断(1)	・歯科衛生診断と歯科診断の違いを説明できる ・歯科衛生診断の3つのタイプを説明できる ・歯科衛生診断の構成を説明できる	歯科衛生診断
6.	歯科衛生診断(2) 歯科衛生計画(1)	・歯科衛生診断の優先順位の決め方を説明できる ・長期目標、短期目標の意味を説明できる ・長期目標、短期目標の立て方を説明できる	計画：目標設定
7.	歯科衛生計画(2)	・歯科衛生計画の立て方を説明できる	計画：計画立案
8.	歯科衛生介入 歯科衛生評価	・歯科衛生介入の記録方法を説明できる ・歯科衛生評価の方法を説明できる	45分

2025 年度 3 年前・後期

＜専門分野＞ 科目名 キャリアデザイン 講師名 佐々木ひろみ 単位数 1

授業概要	歯科衛生士の専門能力を用いて社会貢献し、自ら主体的に判断してキャリア形成していくために、歯科衛生士が連携する他職種、医科歯科連携、社会人基礎力、生涯研修の必要性和手段について知る。
教科書	下記「持ち物」に記載
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験
履修上の注意点	プリントは授業順にファイルしておく。 全時間出席が原則、休まないように健康管理に気をつけること。 教授要項を確認し、忘れ物の無い様にすること。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	持ち物	備考
1. 4/24	社会人基礎力 1	- 社会人基礎力の必要性を説明できる。 - 社会人基礎力（3つの能力、12の能力要素）の意味を理解できる。 - 歯科衛生士の社会人基礎力行動例を理解できる。 - 現時点の社会人基礎力を自己評価する。 - 自分の重点行動目標を立てる。		
2. 5/8	医療倫理 1	- 医療従事者の倫理にかかわる規定・宣言を知る。 - インフォームドコンセントを理解する。		
3. 5/15	医療倫理 2	- 研究と医療倫理を知る。 - 歯科衛生士の倫理綱領を知る。		
4. 3-1 5/22 3-2 5/23	他職種の理解と連携	- 医療、保健、福祉、教育における職種と業務を挙げる。 - チーム医療、連携、協働の意味を述べる。 - 歯科衛生士の活動の場とそこで働く職種を挙げる。 - チームアプローチの意義を述べる。		
5. 6/6	歯科衛生士概論まとめ	歯科衛生士国家試験に向け、歯科衛生士概論の知識を再確認し、理解の修正をする。	歯科衛生士概論1 プリント	
6. 7. 後期	卒後のステップアップ	現場で働く先輩歯科衛生士から研修体験や仕事をステップアップしてきた経緯を聞き、自分自身の目標を考える。		TAKI 180 分
8. 後期	社会人基礎力 2 歯科衛生士の卒後研修 歯科衛生士の役割	- 臨床実習を終え、社会人基礎力の再評価をする。 - 就職初年度に必要な社会人基礎力の行動例を考える。 - 卒後研修の場や方法を知る。 - 臨床実習を通じて学んだ歯科衛生士の役割について整理できる。	社会人基礎力1の資料（忘れないこと）	

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 保存修復学 講師名 椎谷 亨 単位数 1

授業概要	保存修復治療は、日常的に非常に高頻度で行われる歯科治療の一つです。歯科衛生、補助業務などを行うために必要な、歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、歯科医師の実施する保存修復治療の補助のために必要な治療手順、薬剤および器材の使用法を習得することを目標とします。 講義の中では、近い将来必ず突破しなければならない歯科衛生士国家試験を見据えて、既出保存修復学問題のうち複数の基本的問題を單元ごとに取り入れ、国家試験において難解とされている保存修復学の早期理解を目指します。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学」（医歯薬出版）
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯の保存療法とは（Ⅰ編 1章） 保存修復の概要①（Ⅱ編 1章）	・歯の硬組織疾患の種類と原因、予防法、処置法を説明できる。 ・う蝕治療の流れ、また前準備の概要を説明できる。 ・窩洞の構成と名称、分類と窩洞形態の原則を説明できる。 ・修復処置に使用する器材の概要を説明できる。 ・修復法の種類（直接修復・間接修復）と特徴を説明できる。 ・歯の切削器械・器具の種類と特徴を説明できる。	
2.	保存修復の概要②（Ⅱ編 1章）	・歯の変色の原因と処置法（歯の漂白）を説明できる。 ・Minimal Intervention Dentistry 〈MID〉の意義を説明できる。 ・象牙質知覚過敏症の症状と原因、処置法を説明できる。 ・修復処置後の不快事項とメンテナンスおよび補修修復について説明できる。	
3.	直接法修復①（Ⅱ編 2章）	・コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 ・歯面処理材料の準備ができる。 ・コンポジットレジン修復の器具や材料の準備ができる。	
4.	直接法修復②（Ⅱ編 2章） 歯の漂白①（Ⅱ編 3章）	・グラスアイオノマーセメント修復の手順を説明できる。 ・グラスアイオノマーセメント修復の器具や材料の準備ができる。 ・直接修復治療後の指導ができる。 ・漂白法の適応症を説明できる。 ・漂白法の種類を説明できる。	
5.	歯の漂白②（Ⅱ編 3章） 間接法修復①（Ⅱ編 4章）	・漂白法の手順を説明できる。 ・漂白法の器材・薬剤の準備ができる。 ・漂白後の術後指導ができる。 ・インレー修復の手順を説明できる。	
6.	間接法修復②（Ⅱ編 4章）	・インレー修復の準備ができる。 ・合着後の余剰セメントの除去ができる。 ・間接修復治療後の指導ができる。	

7.	補修修復（Ⅱ編 5章） 保存修復における歯科衛生士の役割（Ⅱ編 6章）	・防湿法に用いる器具や材料の名称と用途を説明できる。 ・ラバーダム防湿ができる。 ・隔壁法に用いる器具の操作ができる。 ・歯肉排除法に用いる器材の操作・取扱いができる。 ・歯間分離法に用いる器具の操作ができる。 ・切削用器械、器具の取扱いと管理ができる。 ・直接修復治療後の指導ができる。 ・漂白後の術後指導ができる。 ・間接修復治療後の指導ができる。	
8.	まとめ	・保存修復治療の診療補助手技、患者への指導に関わる理論的諸背景を総合的に述べることができる。	45 分

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 歯内療法学 講師名 前田 朋己 単位数 1

授業概要	歯髓疾患および根尖性歯周組織疾患の診査、診断、処置、予防を行うために必要な知識を身につける。
教科書	保存修復学・歯内療法学
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯内療法の概要	歯内療法に必要な検査を説明できる。 歯髓疾患および根尖性歯周組織疾患の原因、症状、処置方針を説明できる。	
2.	歯髓保存療法	歯髓保存療法の概要と使用する器具・薬剤を説明できる。	
3.	歯髓除去療法（１）	生活断髓法の概要と使用する器具・薬剤を説明できる。	
4.	歯髓除去療法（２）	麻酔抜髓法の概要と使用する器具・器材を説明できる。	
5.	根管治療	根管治療の概要と使用する器具・器材を説明できる。	
6.	根管充填 歯内療法における安全対策	根管充填の概要と使用する器具・器材を説明できる。 歯根未完成歯の治療法を説明できる。 歯内療法における偶発症の予防と対処法を説明できる。	
7.	外科的歯内療法 歯の外傷	外科的歯内療法の名称、適応症、術式を説明できる。 歯の外傷の分類、対処法を説明できる。	
8.	まとめ	講義内容の補充。試験に向けてまとめ、ポイントを述べるができる。	45分

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 歯周病学 講師名 水谷幸嗣・松浦孝典 単位数 2

授業概要	歯周病の病態・病因について学習し、歯周治療の目的、理論、実際を理解する
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 (医歯薬出版)
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯周治療とは	歯周治療がどのような治療かをイメージすることができる	齋藤
2.	正常な歯周組織の構造・機能	正常な歯周組織の構造・機能を説明できる	齋藤
3.	歯周病の分類	歯周病に罹患した歯周組織について類別できる	水谷
4.	歯周病の原因	歯周病の病因について説明できる	齋藤
5.	歯周治療の進め方	歯周治療の流れを説明できる	齋藤
6.	歯周病の診査(1)	歯周病の診査方法、検査について説明できる	水谷
7.	歯周病の診査(2) 歯周基本治療(1)	歯周病検査(咬合、画像診断)について説明できる。歯周基本治療の概要を説明できる	齋藤
8.	歯周基本治療(2)	プラークコントロールの方法・効果を説明できる	水谷
9.	歯周基本治療(3)	スケーリング・ルートプレーニング、薬物療法の方法・効果を説明できる	齋藤
10.	歯周外科治療(1)	歯周外科の適応、器具、術式を説明でき、治癒形態については再生療法と比較できる	水谷
11.	歯周外科治療(2)	歯周形成外科、根分岐部病変、歯内歯周病変について分類と治療法について説明できる	水谷
12.	口腔機能回復治療	咬合性外傷、固定法、インプラント治療、インプラント周囲炎について説明できる	齋藤
13.	ペリオドンタルメディシン	歯周病と関係の深い全身疾患について説明できる	水谷
14.	メンテナンス	メンテナンスの方法、重要性について説明できる	齋藤
15.	症例提示・まとめ	歯周治療について、初診からメンテナンスまでの臨床症例を通じて総括的に述べるができる	水谷

2025年度 1年後期 講義

＜専門科目＞ 科目名 歯科補綴学

講師名 小峰広平

単位数 1

授業概要	歯科補綴学に関する検査と診断、補綴治療計画の立案、治療方法と材料、実際の診療の流れ、さらに術後のメンテナンスに至るまで、診療に必要な基礎と歯科衛生士の役割を学ぶ
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学（医歯薬出版）」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯の欠損に伴う障害	歯を失った患者の病態について、機能と形態の側面から説明できる	
2.	検査・診断と補綴装置の構造	検査方法と診断を理解し、適した補綴装置について説明できる	
3.	クラウンブリッジ	固定性の補綴治療の種類、治療の流れと使用する材料を説明できる	
4.	部分床義歯	部分床義歯の構成要素、治療の流れと使用する材料を説明できる	
5.	全部床義歯とインプラント	全部床義歯とオーバーデンチャーについて、治療の流れと使用する材料を説明できる	
6.	合併症と患者指導	補綴治療に際し、留意すべき患者の全身疾患と現病歴、社会背景を説明できる	
7.	補綴治療後のメンテナンス	補綴治療後に起こる口腔内の変化、補綴装置の問題とそれらへの対処法を説明できる	
8.	補綴治療の役割	補綴治療の現場で歯科衛生士に求められる役割を説明できる 講義内容の補充、まとめ	45 分

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 口腔外科学 講師名 佐藤 五月 単位数 1

授業概要	患者さんは、痛みや精神的苦痛をもって来院します。みなさんが歯科衛生士として患者さんと向き合うとき、ここで学習し、得た知識が生かされます。用語は難しいと思います、しかし基本をおさえれば口腔外科が分かるようになります。 顎・口腔領域に生じる疾患の特徴や治療法を基礎科目で得た知識と関連付けなら講義します。事前に教科書を読んで講義に臨んで下さい。
教科書	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学
副教材	講義プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	口腔外科の概要 p2-18、 口腔外科診療の実際 p130-171	口腔外科で扱う疾患、口腔に症状を呈する全身疾患、治療に影響を与える基礎疾患を説明できる。また、清潔と不潔、滅菌と消毒の違いが説明でき、口腔外科診療における歯科衛生士の役割を述べるができる。	
2.	顎・口腔領域の炎症性疾患 p80-88	解剖学・病理学と結びつけて炎症を説明できる。歯周組織、顎骨、顎骨周囲組織への炎症の広がりを、原因と口腔解剖学からイメージできる。	
3.	顎・口腔領域の損傷・機能障害と治療法 p34-49	軟組織の損傷、歯と歯槽の外傷、顎骨骨折、顎関節疾患と治療法について説明できる。	
4.	口腔粘膜病変 視診で気付けるイメージづくり p50-79	口腔粘膜の特徴を理解し、粘膜疾患の基本的症状、全身疾患との関連が説明できる。「何か変」と気付ける歯科衛生士を目指す。	
5.	口腔粘膜病変 知識の整理と業務への応用 p50-79	各種口腔粘膜疾患の特徴と治療法 何に気をつけて歯科衛生士業務をすべきなのか考えられる。	
6.	唾液腺疾患 p112-121	唾液腺の種類（部位）と機能が説明できる。唾液腺の炎症性疾患、分泌異常、唾石症、腫瘍の症状と治療法が説明できる。	
7.	先天異常、発育異常と口腔外科診療 p19-33	歯の異常、軟組織の異常、顎の異常、口唇裂・口蓋裂と治療法について説明できる。	
8.	顎・口腔領域の嚢胞性疾患 p89-97	発生原因（どこに由来するのか）を知り嚢胞の構造をイメージできる。嚢胞の発育は緩慢で無痛性であることを知り、その治療法が説明できる。	
9.	顎・口腔領域の腫瘍ならびに腫瘍類似疾患 p98-111	炎症による腫脹と腫瘍との違いはなにか？腫瘍とは何か、悪性と良性は何が違うのか、発生する組織による腫瘍分類、進行程度による分類（TNM 分類）を説明できる。	
10.	口腔領域の神経疾患 122-129	神経は運動と知覚を司る。顎・顔面領域の神経の種類と機能を知り、神経痛、神経麻痺がどのような症状を呈するのかを説明できる。	

授業概要	日々、成長発達変化がみられる小児に対し、歯科衛生士としてできることはたくさんあります。そのために、必要な知識を理解、習得する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 小児歯科学 (医歯薬出版株式会社)
副教材	
評価方法	期末試験 (筆記試験)

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	小児歯科学総論 心身の発育 小児の生理的特徴	小児歯科学の意義について説明できる。 小児の発育、発達について説明できる。 小児の生理的特徴について説明できる。	
2.	顔面頭蓋の発育 歯の発育とその異常	顎顔面頭蓋の発育について説明できる。 乳歯、永久歯について説明できる。	
3.	歯列・咬合の発育と異常	小児の歯列・咬合の発育と異常について説明できる。	
4.	小児の歯科疾患	小児の歯科疾患（う蝕、歯周疾患、軟組織異常など）について説明できる。	
5.	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科における患者との対応法	小児の特徴について説明できる。 小児歯科における対応法について説明できる。	
6.	小児歯科における診療体系 1	小児歯科診療（麻酔、歯冠修復、歯内療法、外科的処置、外傷など）について説明できる。	
7.	小児歯科における診療体系 2	小児歯科診療（咬合誘導、フッ化ジアンミン銀、リコール、障害児の歯科治療など）について説明できる。	
8.	小児歯科における診療体系 3	う蝕予防、口腔管理について説明できる。	

2025年度 1年後期 講義

<専門分野> 科目名 歯科矯正学 講師名：鈴木 聖一・辻 美千子 単位数 2

授業概要	歯科矯正学の基礎と臨床に関わる知識を修得し、これら知識に基づき矯正臨床の場で歯科衛生士として実践できる幅広い応用力を身に付ける
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学」
副教材	配布プリント、課題
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	歯科矯正学の定義と目的	歯科矯正学の定義、および歯科矯正治療の意義と目的、不正咬合のリスクファクターを説明できる。	鈴木
2.	成長発育 1	全身および顎顔面領域における成長発育の時期と成長の部位、及びパターンについて説明できる。	鈴木
3.	成長発育 2	口腔および歯列の成長発育の場、時期、および乳歯咬合から永久歯咬合の変化を説明できる。	鈴木
4.	正常咬合・不正咬合	正常咬合の定義、および不正咬合の分類とそれぞれの特徴について説明できる。	鈴木
5.	不正咬合の病因	様々な不正咬合の原因と成立の経過、および不正咬合が全身へ及ぼす影響について説明できる。	鈴木
6.	矯正診断	矯正診断に必要な検査と分析法および解析結果から治療計画を立案する思考法を説明できる。	鈴木
7.	口腔習癖・MFT	口腔習癖の原因、弊害、および筋機能療法の目的と基本的な方策について説明できる。	鈴木
8.	材料・矯正器具	矯正治療で使用される材料、物性、器具の名称、および各々の使用目的について説明できる。	鈴木
9.	矯正装置	各種矯正装置が矯正力を歯に伝えるメカニズム、装置の名称、適応症例について説明できる。	鈴木
10.	口唇口蓋裂・先天異常	口唇口蓋裂と各種先天異常の病態と、各々に特徴的な不正咬合および治療法について説明できる	辻
11.	矯正治療基礎	歯の移動における生体反応、各種不正咬合に対する基本的な治療方針と治療計画を説明できる。	鈴木
12.	矯正臨床 1	各種の不正咬合症例における矯正治療の実際について知り、基本的な矯正治療の流れを説明できる。	辻
13.	矯正臨床 2	各種の不正咬合症例における矯正治療の実際について知り、基本的な矯正治療の流れを説明できる。	辻
14.	顎変形症・後戻りと保定	矯正治療後の後戻りと保定の概念、顎変形症の症状の特徴と外科的矯正治療について説明できる。	鈴木
15.	矯正治療の介助	歯科衛生士に必要な矯正治療における介助の要点と実際について説明できる。	鈴木

2025年度 2年前期 講義

＜専門分野＞ 科目名 障害者歯科学 講師名 宮城 敦 単位数 1

授業概要	障害者の歯科医療では治療や指導および患者管理に特別の配慮を必要とする。その際に必要な身体的、知的、および精神的特徴と特有の口腔機能障害について理解する。そして私たちと同じ社会の一員でもある障害者の生活を知り、歯科衛生士として適切な態度と行動を習得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」 医歯薬出版
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験（選択式）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4／16	障害者および障害者歯科の定義、現状、歴史	障害者および障害者歯科の定義・歴史を説明できる。 ノーマライゼーションについて説明できる。 チームアプローチを説明できる。	
2. 4／23	障害者の歯科医療と患者の行動調整	障害者歯科で実践する種々の行動調整法を説明できる。	
3. 4／30	視覚・聴覚障害およびてんかんと歯科的対応	視覚障害・聴覚障害とその歯科的対応について説明できる。 てんかんの症状とその歯科的対応について説明できる。	
4. 5／7	知的能力障害およびダウン症候群と歯科的対応	知的障害の症状と歯科的対応について説明できる。 ダウン症候群の症状と歯科的対応について説明できる。	
5. 5／14	発達障害と歯科的対応	限局性学習症、注意欠如多動症および自閉スペクトラム症の症状と歯科的対応を説明できる。	
6. 5／21	脳性麻痺と歯科的対応	脳性麻痺の症状と歯科的対応について説明できる。	
7. 5／28	重症心身障害、筋ジストロフィーおよび筋萎縮性側索硬化症の歯科的対応	重症心身障害、筋ジストロフィーおよび筋萎縮性側索硬化症の症状と歯科的対応を説明できる。	
8. 6／4	脊髄損傷と歯科的対応他	脊髄損傷の症状と歯科的対応を説明できる。 障害者の口腔衛生管理について説明できる。	45 分

2025年度 2年前期

＜専門分野＞ 科目名 高齢者歯科学 講師名 高城大輔 単位数 1

授業概要	超高齢社会に突入し、歯科医療従事者に要求される知識や技能が変化している。歯科疾患に対する知識のみならず、口腔全体の健康ひいては口腔を通じて全身の健康に寄与することが求められ、それに対応すべく高齢者歯科学の概念が確立された。本講座では高齢者歯科学についての知識や技能の基礎を修得する。
教科書	医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科
副教材	授業プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 4／14	高齢者の社会環境 高齢者のための社会福祉制度	1. 高齢者に関わる人口統計や高齢者を支える取り組みについて説明できる 2. 高齢者に関わる社会保障制度を説明できる	
2. 4／21	全身および口腔内の加齢変化	1. 加齢による肉体的・精神的・社会的な影響を説明できる 2. 口腔機能低下症・オーラルフレイルについて説明できる	
3. 4／28	高齢者のアセスメント	1. 介護現場において頻用されるアセスメント指標について列挙できる 2. 医療現場において頻用されるアセスメント指標について列挙できる	
4. 5／12	歯科治療時に注意が必要な全身疾患	1. 高齢期に多い、歯科治療時に配慮が必要な全身疾患を列挙できる 2. 各疾患における歯科治療時の注意点を説明できる	
5. 5／19	歯科訪問診療	1. 歯科訪問診療について説明できる 2. 患者の状態やライフステージに配慮した歯科診療について説明できる	
6. 5／26	訪問診療における口腔衛生管理と関係職種	1. 訪問診療における歯科衛生士の意義を説明できる 2. 訪問診療での口腔衛生管理について、具体的な方法を説明できる 3. 患者の健康を支える関連職種について列挙できる	
7. 6／ 2	摂食嚥下リハビリテーション	1. 摂食嚥下のプロセスについて説明できる 2. 摂食嚥下障害について説明できる 3. 摂食嚥下リハビリテーションにおける診査診断と対応方法について説明できる	
8. 6 / 9	認知症と歯科診療	1. 認知症の類型や症状について説明できる 2. 認知症患者の歯科診療時の留意点について説明できる	45分

2025年度 2年前期 講義

＜専門分野＞ 科目名 歯科放射線学 講師名 田口 長、板東 士朗 単位数 1

授業概要	歯科における放射線診断は非常に有効である。 十分な知識を用い、被爆の少ない安心な医療の提供できるように 本講義を通して臨床の現場で患者に十分説明できる知識を持ち、安全に利用できる 知識・技能を学ぶ。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第2版
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 4/24	歯科医療と放射線	放射線の基礎知識を理解する	板東
2. 5/1	X線画像の形成	X線の発生と性質、画像の形成原理を理解する	板東
3. 5/8	歯科におけるX線検査	X線撮影機器とフィルム・データの種類を説明できる	板東
4. 5/15	X線撮影の実際と歯科衛生士の役割	X線撮影法の種類やその他の画像検査の特徴を説明できる 写真処理と画像保管の重要性について説明できる	田口
5. 5/22	口内法X線撮影の実際と歯科衛生士の役割	口内法X線撮影法の種類とその特徴を説明できる	田口 BO1
6. 5/29	パノラマX線撮影の実際と歯科衛生士の役割	パノラマX線撮影法と撮影画像を説明できる	田口 BO1
7. 6/5	X線規格撮影方法の実際と歯科衛生士の役割	X線規格撮影法と撮影画像を説明できる	田口 203
8. 6/12	放射線治療と口腔管理	放射線の生物学的影響と放射線治療を説明できる	板東 45分

2025年度 2年後期 講義

＜専門分野＞科目名 歯科麻酔・全身管理・救急処置

講師名 今泉 うの

単位数 2

授業概要	歯科衛生士業務を行う為に必要な全身管理と局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、救急処置に必要な基礎知識の確認と使用薬物、技術を修得する。
教科書	「最新歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学」
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	バイタルサイン①	バイタルサインについて説明できる	
2.	バイタルサイン②	バイタルサインの測定時の注意点を説明できる	
3.	患者の予備力の評価	患者の予備力について説明できる 予備力の評価方法を列挙できる	
4.	局所麻酔①	局所麻酔法を列挙できる 局所麻酔薬について説明できる	
5.	局所麻酔②	血管収縮薬について説明できる 局所麻酔時の局所的偶発症について説明できる	
6.	精神鎮静法	精神鎮静法を分類して説明できる 精神鎮静法の注意点を説明できる	
7.	全身麻酔	全身麻酔の概要を説明できる 全身麻酔法について説明できる	
8.	鎮静法と全身麻酔時の業務	全身麻酔時および精神鎮静法時の業務を説明できる	
9.	歯科治療時の全身的偶発症	歯科治療時の全身的偶発症を列挙し、説明できる	
10.	救急蘇生法①	一次救命処置について説明できる	
11.	救急蘇生法②	誤飲・誤嚥の症状・治療・予防について説明できる	
12.	留意すべき疾患	歯科治療時に留意すべき疾患について説明できる	
13.	まとめ		
14	救急法	救急法実習 (東京都防災救急協会普通救命講習)	TAKI
15			白衣の パンツ着用

2025年度 1年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科予防処置Ⅰ 講師名 佐々木ひろみ・坂下美帆・長谷川里果 単位数 前後期 1

授業概要	- 口腔内の状態を把握するために必要な基本知識を修得する。 - 口腔内の状態を把握するために必要な診査器具の操作方法を理解し、技術を修得する。 - 歯石除去を行うために必要な器具の操作方法を理解し、技術を修得する。 - 履修上の注意点ー技術的な手技は毎日の積み上げで上達するものであるから、練習を怠らない。 実習時は身だしなみを整える。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次の指示をする。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」、「歯周病学」
副教材	プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 5／7	歯科予防処置 総論1	- 歯科予防処置の授業を受けるにあたり、注意事項、心構えを理解することができる。 - 歯科予防処置の定義を説明できる。 - 口腔の基礎知識を理解できる。	教室	教授要綱、テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯周病学」 色鉛筆			佐々木
2. 5／14	歯科予防処置 総論2	- 歯石除去の意味を理解できる。 - プラークについて述べることができる。 - 歯石について述べることができる。 - 歯肉炎と歯周炎の特徴を理解できる。		テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯周病学」、総論1で配布したプリント 色鉛筆			
3. 6／4	歯周診査 器具の操作1	- 器具が正しく把持できる。 - 探針の使用目的を説明できる。 - 机上で探針の基本操作ができる。	203	スケラース（中に診査器具一式（ミラー、プローブ、探針、プローブ）を入れてくる）、黒油性マーカー、顎模型	○		坂下
4. 6／12	歯周診査 器具の操作2	- デンタルミラーの使用目的を説明できる。 - マニキン上で探針とデンタルミラーの操作ができる。		スケラース（診査器具一式）、顎模型（舌模型装着してくる）、頬粘膜マーカー 配布したプリント一式			
5. 6／18	歯周診査 器具の操作3	- プローブの使用目的を説明できる。 - 顎模型上でプローブの操作ができる。		スケラース（診査器具一式）、顎模型（舌模型装着、下顎のみ透明歯肉に替えてくる）、頬粘膜マーカー、配布プリント一式			
6. 6／26	スクレーピング 基礎知識	- スクレーパーの種類、使用目的を説明できる。 - シックルスクレーパーの使用原則が説明できる。 - スクレーパーの把持法、操作法が説明できる。 - スクレーピングの基本的な操作ができる。 - 人工歯石を塗布できる。	203	スケラース一式、人工歯石、顎模型、ティッシュペーパー	○		長谷川
7. 7／2	スクレーパー 基本操作1	- スクレーパーの把持法、操作法が説明できる。 - スクレーピングの基本的な操作ができる。 - 机上で、シックルスクレーパーを用いた前歯部のスクレーピング操作ができる。 - マニキン上で、シックルスクレーパーを用いた上顎前歯部のスクレーピング操作ができる。		スケラース一式、顎模型（上顎透明歯肉）、未使用の歯ブラシ（顎模型清掃用）、ティッシュペーパー			

8. 7 / 9	スケーラー 基本操作 2	・シッケルスケーラーの基本操作ができる。 ・マニキン上で、シッケルスケーラーを用いた上下顎前歯部のスケーリング操作ができる。		スケーラー式、顎模型、 頬粘膜マックス、顎模型清掃 用歯ブラシ、ティッシュペーパー	○		長 谷 川
9. 7 / 18	スケーラー 基本操作 3	・シッケルスケーラーの基本操作ができる。 ・マニキン上で、シッケルスケーラーを用いた下顎前歯部のスケーリング操作ができる。		スケーラー式、顎模型、 頬粘膜マックス、顎模型清掃 用歯ブラシ、ティッシュペーパー			

授業概要	・う蝕予防処置を行う上での基盤となる知識を修得する。 ・安全にう蝕予防処置を行うために必要な患者配慮について学ぶ。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「口腔衛生学」授業日より「化学」
副教材	プリント（ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験(筆記試験)、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣
1	う蝕予防の基礎1	・う蝕予防処置の概要を説明できる。 ・フッ化物とは何かをが理解できる。		テキスト ①「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ②「口腔衛生学」 ③1回目、6回目は、「化学」のテキストを①②に加え持参のこと。	
2	う蝕予防の基礎2	・う蝕のメカニズムを説明できる。 ・フッ化物のう蝕予防機序を説明できる。			
3	う蝕予防の基礎3	・全身的・局所的なフッ化物の応用法を述べるができる。 ・フッ化物歯面塗布法について説明できる。			
4	う蝕予防の基礎4	・フッ化物洗口法について説明できる。			
5	う蝕予防の基礎5	・フッ化物配合歯磨剤について説明できる。			
6	う蝕予防の基礎6	・フッ素の急性中毒、慢性中毒について説明できる。 ・急性中毒発現のフッ化物量が算出できるフッ化物の取り扱いが適切に行える。			
7	モリタセミナー	・デンタルガムの活用方法について説明できる。	203	後日案内	○
8	う蝕予防処置まとめ（45分）	・う蝕予防処置に必要な知識を述べるができる。		「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ・配布資料すべて	

2025年度 2年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科予防処置Ⅲ 講師名 佐々木ひろみ・坂下美帆 単位数 1

授業概要	・う蝕予防処置を行う上での基盤となる知識を修得する。 ・安全にう蝕予防処置を行うために必要な患者配慮について学ぶ。 ・履修上の注意（持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は身だしなみを整える。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、「口腔衛生学」
副教材	配布プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 4/15	歯面研磨講義	・歯面研磨の構成と性能の特徴を述べるができる。 ・歯面研磨、貼薬、洗浄について説明できる。 ・ポータブルモーターの準備、片付けができる。	203	スケーラー（ピンセット、探針、ミラー）、ゴグル、顎模型（指定部位に鉛筆で色を塗る）、舌模型装着、頬粘膜ボックス	○		坂下
2.	歯面研磨基礎実習	・歯面研磨、について説明できる。 ・ポータブルモーターの準備、片付けができる。 ・マニキン上で、歯面研磨を実施できる。					
3. 2-1：4/21 2-2：4/18	小窩裂溝填塞法講義	・小窩裂溝填塞法の種類・特徴等を理解できる。	203	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」ピンセット、探針、ミラー、ドライバー、顎模型（下顎を透明歯肉）、頬粘膜ボックス、セテップ、油性ペン	○		
4.	小窩裂溝填塞法実習	・小窩裂溝填塞法の術式を理解し実施できる。					
5. 2-1：6/16 2-2：6/9	う蝕活動性試験講義	・う蝕活動性試験を実施するために、その種類・手順を理解し、注意点を説明できる。	203	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「口腔衛生学」「臨床検査」タール（手拭き用）ティッシュペーパー、スタッドミラー、ごみ袋（小さめ）	○		
6.	う蝕活動性試験実習	・う蝕活動性試験を、感染対策に考慮して実施できる。					
7. 2-1：6/26 2-2：6/19	う蝕活動性試験プログラム作成	・う蝕活動性試験の結果を評価、分析できる。 ・う蝕活動性試験の結果と生活習慣から、各自のう蝕予防プログラムが作成できる。	教室	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「臨床検査」配布プリント一式			

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	白 衣	備 考
8. 2-1：7/ 8 2-2：7/ 7	フッ化物塗布基礎実習	・フッ化物の特徴を説明できる。 ・フッ化物塗布をマニキン上で実施できる。	203	予Ⅱで使用した「う蝕予防の基礎」資料 ・テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 ビネット、ミラー、顎模型(舌模型装着)、頬粘膜ボックス	○		坂 下
9. 2-1：7/18 2-2：7/16	フッ化物塗布相互実習 A	フッ化物塗布を安全に実施できる。	B01	相互実習に必要なもの。 追加があれば後日案内する。		○	
10.	フッ化物塗布相互実習 B						
11. 7/23	フッ化物塗布相互実習 C						
12. 7/11	サンスターセミナー 「効果的なフッ化物製剤の使用について」	・フッ化物の応用方法を説明できる	203	スクッドミラー、フィッシュペーパー、うがい用のコップ、	○		
13. 9/1	フッ化物の応用まとめ	・フッ化物応用について説明できる。	教室	・予Ⅱで使用した「う蝕予防の基礎」資料 ・テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」			佐 々 木
14. 9/1	フッ化物中毒量計算まとめ	・悪心嘔吐発現量の計算ができる。	教室	・予Ⅱで使用した「う蝕予防の基礎」資料 ・テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」			
15. 9/3	う蝕活動性試験まとめ	・う蝕活動性試験について説明できる。	教室	テスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「臨床検査」配布フリットー式			坂 下

＜専門分野＞ 科目名 歯科予防処置Ⅳ 講師名 儀我有子 単位数 前・後期3

指導計画[illegible]

回・月／日		項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	白 衣	備 考
17	2-1 6／13	前歯 SRP 相互実習 オリエンテーション	・相互実習の概要を説明できる。 ・相互実習の記録用紙の記入方法が説明できる。	203	スケーラーケース、シャープ・ソング® 実習に必要なもの一式	○		
	2-2 6／16	前歯 SRP 練習	・マニキン上で、前歯部のキュレットスケーラーの操作ができる。		マニキン実習に必要なもの一式、顎模型（普通歯肉、舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、			
18	6／25	前歯 SRP 相互実習 A	・相互実習にて歯周ポケット測定が適切にできる。 ・相互実習にて、前歯 SRP が適切に実施できる。 ・安全に歯面研磨を実施できる。 ・患者・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。 ・患者配慮ができる。	B01	相互実習に必要なものはオリエンテーションにて連絡する		○	
19								
20	2-1 7／ 2	前歯 SRP 相互実習 B						
21	2-2 6／27							
22	2-1 7／ 3	前歯 SRP 相互実習 C						
23	2-2 7／ 1							
24	2-1 7／ 11	マニキン実習 9	・机上及びマニキン上で、下顎臼歯部のシックル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	ケーラーケース、顎模型（下顎透明歯肉・舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		
25	2-2 7／10	マニキン実習 10						
26	7／15	マニキン実習 11						
27	7／16	マニキン実習 12						
28	7/22	マニキン実習 13	・机上及びマニキン上で、上顎臼歯部のシックル及びキュレットスケーラーの操作ができる。	203	マニキン実習に必要なもの一式、顎模型（上顎透明歯肉・舌模型装着）、頬粘膜ボックス、プリントファイル式、	○		
29								マニキン実習 14
30	9／ 3	マニキン実習 15						
31	9／ 4	マニキン実習 16						
32								マニキン実習 17
33	9／ 5	マニキン実習 18						

2025度 2年後期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科予防処置Ⅴ

講師名 坂下美帆 内山綾乃

単位数 後期 1

授業概要	う蝕や歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識・技術・態度を習得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	配布プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1	シャープニング 基礎講義	・シャープニングの目的と砥石の種類を述べることができる。	203	マニキ実習に必要なものの一式、黒油性サイン、ティッシュペーパー、器具拭きタオル	○		内山
2	シャープニング実習1	・シックルタイプスケーラーの刃部形態を説明することができる。 ・シャープニングのポイントに沿って、適切に研ぐことができる。					
3	シャープニング実習2	・シャープニングのポイントに沿って、適切に研ぐことができる。 ・シャープニングのポイントに沿って、適切にダルスケーラーを研ぐことができる。					
4	シャープニング実習3 (135分)	・キュレットタイプスケーラーの刃部形態を説明することができる。 ・シャープニングのポイントに沿って、適切に研ぐことができる。					
5, 6	パワースケーラー講義	・超音波・エアスケーラー・歯面清掃器の原理、構成と性能の特徴を述べることができる。 ・それぞれの利点、欠点、禁忌症、操作方法を説明、比較できる。		歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」			坂下
	パワースケーラー 基礎実習	・パワースケーラーの始業準備ができる。 ・パワースケーラーの運動の違いを比較できる。	B01	配布プリント、顎模型（人口歯石塗布）ゴーグル、フェイスシールド、マスク、フェイスタオル		○	
7	パワースケーラー マニキン実習A	・超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面研磨の操作を安全に実施できる。 ・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。 ・患者の気持ちを考え、患者配慮しながら実習できる。			マニキ実習に必要なもの、顎模型（普通歯肉、人工歯石塗布）、頬粘膜ブロック、フェイスシールド、記録用紙、筆記用具 ＊詳細は後日指示		

8	パワースケーラー マニキン実習 B	・超音波スケーラー、エアスケーラー、歯面研磨の操作を安全に実施できる。 ・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。 ・患者の気持ちを考え、患者配慮しながら実習できる。	B01	マニキン実習に必要なもの、顎模型（普通歯肉、人工歯石塗布）、頬粘膜ボックス、ゴーグル、記録用紙、筆記用具 ＊詳細は後日指示		○	坂下
9	パワースケーラー マニキン実習 C						
10	歯面清掃器講義	・歯面清掃器の原理、構成と性能の特徴を述べることができる。 ・それぞれの利点、欠点、禁忌症、操作方法を説明、比較できる。	B01	「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」、マスク、ゴーグル、10円玉 1 枚	○		内山
11, 12	歯面清掃器 マニキン実習 A	・歯面清掃器の基本的な操作ができる。 ・術者・補助者の経験を通じ、それぞれの立場での心構え・気配り・技術や医療連携ができる。		マニキン実習に必要なもの、顎模型（普通歯肉）、頬粘膜ボックス、ゴーグル、記録用紙、筆記用具 ＊詳細は後日指示	○	○	
	歯面清掃器 マニキン実習 B						
13	歯面清掃器 マニキン実習 C						
14	歯科予防処置Ⅴ まとめ （135分）	・超音波・エアスケーラー・歯面清掃器を操作する上で必要な知識を説明できる。 ・シャープニングに必要な知識を説明できる。		「歯科予防処置論・歯科保健指導論」配布プリント一式			坂下・内山

2025年度 3年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科予防処置Ⅵ 講師名 佐々木ひろみ・儀我有子・坂下美帆 単位数 1

授業概要	う蝕や歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的知識・技術・態度を習得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」「歯周病学」
副教材	配布プリント（担当教員ごとに整理、ファイリングし、テキストと同様に扱う） 授業に必ず持参
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日		項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 4/24		カリエス・ペリオリスク講義（実習の説明含む）	・カリエス・ペリオリスク評価の種類と方法を述べることができる。	教室	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」			儀我
2	4/25	カリエス・ペリオリスク実習（180分）	・対象者のカリエス・ペリオのリスク検査が適切にできる。 ・対象者の情報を分析できる。	203	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、配布資料一式、ハンドタブル（手拭き用）、スタートタイプミラー	○		
3.								
4. 5/8		パワースケーラー相互実習オリエンテーション	・相互実習の概要を説明できる。 ・記録用紙の記入方法を説明できる。	教室	テキスト「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、パワースケーラー、歯面研磨講義で配布したプリント一式			坂下
5	5/16	パワースケーラー相互実習A（180分）	・相互実習において超音波スケラーと歯面研磨の操作を安全に実施できる。 ・患者・補助者・術者の経験を通じて、それぞれの立場での心構えを持って、医療連携ができる。	BO1	相互実習に必要なもの		○	
6								
7	3-1: 5/23 3-2: 5/22	パワースケーラー相互実習B（180分）						
8								
9	5/30	パワースケーラー相互実習C（180分）						
10								
11. 7/17		歯科予防処置各論1（様々なスケラー・プロープの知識）						・様々なスケラー・プロープの種類・特徴が説明できる。
12. 8/21		歯科予防処置各論2（PMTCの知識・歯周病予防処置まとめ）	・PMTCに関する知識と手順を説明できる。 ・今まで学習してきた歯周病予防処置を基礎から復習し、さまざまな知識を関連付け、総合的に理解できる。	教室	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」、「歯周病学」顎模型			
13. 8/28		歯科予防処置各論3（う蝕予防処置まとめ1）	・今まで学習してきたう蝕予防処置を基礎から復習し、さまざまな知識を関連付け、総合的に理解できる。		「歯科予防処置論・歯科保健指導論」			
14. 9/4		歯科予防処置各論4（う蝕予防処置まとめ2）						
15. 9/5		歯科予防処置各論5	・歯科予防処置の知識を再確認できる					

2025年度 1年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科保健指導Ⅰ 講師名 遠藤直美・内山綾乃

単位数 1

授業概要	・歯科保健指導をおこなう上での基盤となる知識と考え方を理解する。 ・口腔清掃指導の基礎として口腔清掃法の知識と技術、歯垢・歯石の診査法を修得する。 ・歯科保健指導の手順、記録、対象把握法など歯科保健指導を行なう上での基本になる考え方や方法を学ぶ。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論（第2版）
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	備考
1. 4/17	歯科保健指導総論1 （歯科保健指導とは）	歯科保健指導とは何かを述べられる。 健康の概念、予防の概念を説明できる。				遠藤
2. 4/22	歯科保健指導総論2 （口の機能 演習）	口の機能について説明できる。 （演習）		ｽﾀﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ 手鏡 （以後手鏡と表記） ミネラルウォーター 1本（500ml） フランスパン 1切		遠藤
3. 4/30	歯科保健指導総論3 （口の健康と習癖）	口の健康について説明できる。 口の健康に関わる習癖（癖）について説明できる。		手鏡		遠藤
4. 5/8	歯科保健指導総論4 （口の健康と生活行動）	口の健康に関わる生活行動について説明できる。	TAKi			遠藤
5. 5/15	歯科保健指導総論5 （行動変容）	行動変容の要素とそのステップを述べられる。 行動変容の理論を説明できる。	TAKi			遠藤
6. 5/16	口腔清掃方法1 （口腔清掃の意義）	口腔清掃とプラークコントロールの意義と概要について述べられる。				内山
7. 6/4	口腔清掃方法2 （歯ブラシに関する知識）	歯ブラシの種類、名称、管理方法、交換時期について説明できる。	TAKi	・普段使用している歯ブラシ ・入学時に購入した歯ブラシ（各種、計5本） ・定規		内山
8. 6/10	口腔清掃方法3 （毛先を使ったブラッシング法）	ブラッシング方法とその為害作用の関係を説明できる。	203	・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・普段使用している歯ブラシ ・コップ ・手鏡 ・ﾊﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ ｵｰﾙ 注）実習前の歯磨き禁止	○	内山
9. 6/20	口腔清掃方法4 （デンタルフロス）	デンタルフロスの種類と使用方法を述べられる。デンタルフロスを顎模型において操作できる。	203	・顎模型、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・入学時に購入したデンタルフロス ・ﾊﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ ｵｰﾙ・ｺｯﾌﾟ・手鏡	○	内山
10. 6/27	情報の収集 （ﾌｪｽﾐｯﾄについて）	歯科衛生過程の考え方を説明できる。歯科保健指導を行なう為の情報収集ができる。		歯科衛生士概論Ⅰで配布されたプリント		遠藤
11. 7/9	医療面接	医療面接の技法を理解し、留意点を説明できる。				遠藤

12. 7/15	聞き取り実習 1	聞き取り（問診）で確認が必要な患者の 情報について説明できる。	TAKi			遠藤
13. 7/17	ブラーク(歯垢)・ 歯石の診査法	ブラーク(歯垢)・歯石の指数(オレリ ー法他)を算出できる。				内山
14. 7/22	聞き取り実習 2	歯科保健指導に必要な情報を聞き取り (問診) できる。	BO1	プリントー式	○ 白 衣	遠藤
15. 7/23	ブラーク(歯垢) 染色実習	歯垢染色剤の種類を述べられる。 自らの口腔内において、歯垢染色状況 を測定できる。	203	・普段使用している歯ブラシ ・コップ ・手鏡 ・ハンド タル ・ティッシュペーパー ・赤鉛筆（細く削っておく）、 ・黒ボールペン、電卓 ・リップ クリーム 注）実習前の歯磨き禁止	○	内山

2025年度 1年後期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科保健指導Ⅱ

講師名 遠藤直美・内山綾乃

単位数 1

授業概要	口腔清掃指導の基礎として口腔清掃法の知識と技術を習得する。 修得した口腔清掃方法を人に伝える技術を学ぶ。 ライフステージの中で、歯科保健指導Ⅱでは妊産婦期から新生児・乳児・幼児期の歯科保健指導の知識、技術を身につける。 ・履修上の注意 - 持ち物はこの教授要綱で確認、追加等については授業にて指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、ブラッシングテスト、フロッシングテスト、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	白 衣	備考
1	口腔清掃方法 1 （脇腹を使った ブラッシング方法）	効果的なブラッシング方法を実施 できる。	203	・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・ハイドラル ・口腔内用歯ブラシ	○		遠藤 内山
2	口腔清掃方法 2 （デンタルフロス）	デンタルフロスの種類と使用方法 を述べられる。デンタルフロスを 顎模型において操作できる。	203	・顎模型、ドライバー ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・入学時に購入した デンタルフロス ・ハイドラル・コップ・手鏡	○		
3	口腔清掃方法 3 （歯間ブラシ他）	歯間ブラシやタフトブラシなどの補助的 清掃用具の種類と使用法を説明で きる。 顎模型において工夫し操作でき る。	203	・顎模型、ドライバー ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・入学時に購入した 歯間ブラシ（箱ごと） タフトブラシ ・ハイドラル・コップ	○		
4	術者磨き相互実習 オリエンテーション	自らの口腔内で効果的な口腔清掃方 法を工夫できる。		顎模型・指導用歯ブラシ ティッシュペーパー・ハイドラル 赤鉛筆・スタンド式手鏡・ 口腔内で使用する歯ブラシ			
5	術者磨き相互実習 A	適切な術者磨きが実施できる。 適切なブラッシング方法を指導する ことができる。 適切なフロッシング（指巻き法）を 実施できる。	B01	口腔内で使用する歯ブラシ ティッシュペーパー ハイドラル 顎模型、指導用歯ブラシ 相互実習の準備 記録用紙		○	
6	術者磨き相互実習 B						
7	術者磨き相互実習 C						
8	妊産婦期の 歯科保健指導	妊産婦の一般的特徴を説明できる。 妊産婦の口腔の特徴を説明できる。 妊産婦期の歯科保健行動について説 明できる。					遠藤 内山
9	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導 1	新生児・乳児・幼児の一般的特徴を 説明できる。 新生児・乳児・幼児の歯科保健指導 に必要な基礎知識を列挙できる。					遠藤
10	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導 2						
11	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導相互実習 オリエンテーション	新生児・乳児・幼児期の保護者に対 し行う歯科保健指導相互実習につい て説明できる。		プリント			
12	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 A	新生児・乳児・幼児期の保護者に対 し、歯科保健指導ができる。	B01	プリント参照		○	
13	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 B						
14	新生児・乳児・幼児期の 歯科保健指導実習 C						

	ブラッシングテスト	ブラッシング方法を指導できる。	203	・顎模型 ・舌模型 ・指導用歯ブラシ ・ハンドタール	○		遠藤
	フロッシングテスト	マニキン上で適切なフロッシングを実施できる。 座位で適切なフロッシングができる。	203	・顎模型、ドライバー ・舌模型 ・デンタルフロス ・ハンドタール	○		

2025年度 2年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科保健指導Ⅲ 講師名 狩野真沙子・遠藤直美・内山綾乃・堀口由紀子 単位数 3

授業概要	・地域や学校などにおいて歯科保健活動をおこなうための計画や準備について学ぶ。 ・保育園での歯科保健指導実習準備を通して、幼児を対象とした集団歯科保健指導計画と準備の方法を修得する。 ・各ライフステージにおける歯科保健指導の知識を修得する。（成人期、学齢期、老年期） ・歯科保健指導相互実習において、指導用媒体を活用し、う蝕と歯周病の説明をする。 ・歯科保健指導の相互実習を通し、歯科保健指導のプロセスと技法を実施する。 ・履修上の注意—持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う） 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科、口腔衛生学（第4版） ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策②⑤
評価方法	期末試験（筆記試験）、指導用媒体、提出物

指導計画

テキスト、配布プリントを活用し、予習・復習をおこない授業に臨むこと。

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	白衣	備考
1. 4/11	成人期の歯科保健指導 1	成人期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。		ポイントチェック②		狩野
2. 4/14	成人期の歯科保健指導 2	口腔内写真の歯肉を観察し、変化を説明できる。				狩野
3. 4/16	成人期の歯科保健指導 3	各種ブラッシング方法を説明できる。 「指導用媒体を用いた歯科保健指導（成人対象）実習」の方法を列挙できる。		顎模型 指導用歯ブラシ		狩野
4. 4/22	成人期の歯科保健指導 4	「指導用媒体を用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿が作成できる。		媒体 資料など		狩野
5. 4/25	集団歯科保健指導	集団歯科保健指導の場、計画、準備について述べるができる。		テキスト 「口腔衛生学（第4版）」		内山
6. 5/2	保育園の歯科保健指導実習準備 1	指導をおこなうにあたっての基礎条件を列挙できる。				遠藤
7. 5/2	指導用媒体を用いた歯科保健指導 1	「指導用媒体を用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿を持ち寄り、模擬実習を実施できる。	203 TAKI	顎模型 指導用歯ブラシ 媒体		狩野
8. 5/7	保育園の歯科保健指導実習準備 2	指導案を作成できる。		関係プリント一式		遠藤
9. 5/7	指導用媒体を用いた歯科保健指導 2	指導用媒体を用いた歯科保健指導（成人対象）」の原稿を持ち寄り、模擬実習を実施できる。	203 TAKI	顎模型 指導用歯ブラシ 媒体		狩野
10. 5/9	保育園の歯科保健指導実習準備 3	指導案を作成できる。 指導計画について発表できる。 他者の発表を聴講し、評価できる。		関係プリント一式		遠藤

11. 5/13	指導用媒体を用いた 歯科保健指導 3	指導用媒体を用いて模擬指導 (成人対象)が実施できる。	各教室	顎模型 指導用歯ブラシ 媒体		狩野 他
12. 5/13	保育園の歯科保健指導実習 準備 4	指導原稿を作成できる。 指導用媒体作製の計画を立案 できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ-式		遠藤
13. 5/14	保育園の歯科保健指導実習 準備 5	指導媒体を作成できる。		定規、はさみ、 カッターなど		遠藤
14. 5/14	保育園の歯科保健指導実習 準備 6	指導媒体を仕上げることで きる。		定規、はさみ、 カッターなど		遠藤
15. 5/19	指導用媒体を用いた 歯科保健指導 4 (試験)	指導用媒体を用いて模擬指導 が実施できる。 (成人対象 う蝕)	各教室	顎模型 指導用歯ブラシ 媒体	○	狩野 他
16. 5/20	保育園の歯科保健指導実習 準備 7	グループ内でリハーサルを行 い、指導案を改善できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ-式 指導原稿、媒体		遠藤
17. 5/21	保育園の歯科保健指導実習 準備 8	クラスでリハーサルを行い、指 導案を改善できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ-式 指導原稿、媒体		遠藤
18. 5/21	指導用媒体を用いた 歯科保健指導 5 (試験)	指導用媒体を用いて模擬指導 が実施できる。 (成人対象 歯周病)	各教室	顎模型 指導用歯ブラシ 媒体	○	狩野 他
19. 5/26	成人期の歯科保健指導 5	事例からSOAP I E形式の 業務記録の書き方を検討でき る。(グループワーク)				狩野
20. 5/26	保育園の歯科保健指導実習 準備 9	最終リハーサルが実施できる。		実習当日の身だ しなみ		遠藤
21. (2-1) 5/27 (2-2) 5/30	歯科保健指導相互実習 1 オリエンテーション	相互実習 1 の手順、注意事項、 自己評価の方法について説明 できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ-式		狩野
22. (2-1) 5/27 (2-2) 6/2	保育園の歯科保健指導実習 準備 10	実施にあたっての最終打ち合 わせをし、当日の流れを説明で きる。		自分の口腔用歯 ブラシ ﾃｯｼｭﾊﾟｰﾊﾟｰ 関係ﾌﾟﾘﾝﾄ-式		遠藤
23 24	(2-1) 6/2 (2-2) 6/4	歯科保健指導相互実習 1 A	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○ 狩野
25 26	(2-1) 6/3 (2-2) 6/10	歯科保健指導相互実習 1 B	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○ 狩野
27 28	(2-1) 6/9 (2-2) 6/11	歯科保健指導相互実習 1 C	相互実習において情報を収集 できる。	B01		○ 狩野

29.	6/16	情報の整理	歯科保健指導相互実習で収集した情報を整理できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		狩野
30.	6/16	老年期の口腔機能向上	老年期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。 口腔機能向上の為の間接訓練の手段を説明できる。		テキスト 「高齢者歯科」		内山
31.	6/18	情報の整理～実施計画	歯科保健指導相互実習で収集した情報から歯科衛生介入のための到達目標を立てることができる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		狩野
32.	6/20	実施計画	歯科保健指導相互実習で収集した情報から歯科衛生介入のための到達目標と実施計画を立案できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		狩野
33.	6/24	歯科保健指導相互実習2 オリエンテーション	相互実習2の手順、注意事項、自己評価の方法について説明できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		狩野 遠藤
34	(2-1) 7/7	歯科保健指導相互実習2 A	・相互実習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 ・演習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。	B01 教室		○	狩野
35	(2-2) 7/2						
36	(2-1) 7/10	歯科保健指導相互実習2 B	・相互実習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 ・演習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。	B01 教室		○	狩野
37	(2-2) 7/8						
38	7/15	歯科保健指導相互実習2 C	・相互実習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：歯科衛生介入を実施できる。 ・演習ﾌﾞﾙｰﾌﾟ：指導用媒体（小児指導用）を作成できる。	B01 教室		○	狩野
39							
40.	7/16	実習記録作成	歯科保健指導相互実習2で実施した実習記録（SOAP I E形式）を作成できる。		関係ﾌﾟﾘﾝﾄ一式		狩野
41.	7/18	リスクに応じた 歯科保健指導 1	口臭・口腔乾燥症に対する介入方法を説明できる。 禁煙指導への介入法方法を説明できる。				遠藤
42.	9/2	学齢期の歯科保健指導	学齢期の歯科保健指導に必要な基礎知識を説明できる。				狩野
43.	9/8	学校歯科保健	学校歯科保健の基礎知識を説明できる。		テキスト 「口腔衛生学 (第4版)」		狩野
44.	9/9	学校歯科保健活動の実際	学校歯科保健をはじめ、地域での歯科保健活動の実例を知る。				堀口
45.	9/10	リスクに応じた 歯科保健指導 2	媒体を用いて禁煙指導の模擬指導が実施できる。	203	媒体 (禁煙指導用)	○ 予防衣	遠藤

2025年度 2年後期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科保健指導Ⅳ 講師名 狩野真沙子・遠藤直美・内山綾乃 単位数 1

授業概要	学校における歯科保健指導を実施する能力を身につけるために、小学校実習および特別支援学校実習の準備を通して、集団指導を計画・実施する方法を学ぶ。 各ライフステージにおける問題点を整理し、歯科保健指導のポイントを確認する。 ・履修上の注意 - 持ち物はこの教授要綱で確認、追加等については授業にて指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	「歯科予防処置論・歯科保健指導論」
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	備考
1	小学校の歯科保健指導 実習準備 1	小学校の歯科保健指導実習の基礎事 項を説明できる。				狩野 内山
2	小学校の歯科保健指導 実習準備 2	担当学年の歯科保健指導案を作成 できる。		配布資料一式		
3	小学校の歯科保健指導 実習準備 3	担当学年のレベルに合わせた歯科保 健指導原稿を作成できる。		配布資料一式 原稿作成の資料		
4	小学校の歯科保健指導 実習準備 4	担当学年のレベルに合わせた指導用 媒体を作製できる。		配布資料一式 はさみ、カッター、 定規など媒体作製のための 用具 媒体作製に必要な資料 指導案・指導原稿		
5	小学校の歯科保健指導 実習準備 5					
6	小学校の歯科保健指導 実習準備 6	集団指導Ⅲ-Ⅷを行い、問題点を検討 し、修正できる。		配布資料一式 作製した媒体 指導原稿など	○	
7	小学校の歯科保健指導 実習準備 7					
8	小学校の歯科保健指導 実習準備 8					
9	小学校の歯科保健指導 実習準備 9					
10	小学校の歯科保健指導 実習準備 10	乳歯と永久歯の識別ができる。 小学生への個別支援法を説明できる。		配布資料一式 作製した媒体 指導原稿など		
11	小学校の歯科保健指導 実習準備 11	個別指導Ⅲ-Ⅷを行い、実習全体の流 れを説明できる。 小学校実習の留意点を説明できる。		配布資料一式 小学校実習での児童の 持ち物	○	
12	特別支援学校の 歯科保健指導 1	知的障害者への対応における留意点 を列挙できる。 特別支援学校での歯科保健指導の留 意点を説明できる。				遠藤 内山
13	特別支援学校の 歯科保健指導 2	特別支援学校（高等学校）の歯科保健 指導の留意点を説明できる。 特別支援学校実習の目標を述べる。		配布資料一式		
14	特別支援学校の 歯科保健指導 3	特別支援学校における歯科保健指導 の計画を立案できる。 特別支援学校実習の概要を説明でき る。		配布資料一式		

15	ライフステージごとの 歯科保健指導まとめ	各ライフステージの特徴を整理できる 各ライフステージの歯科保健指導のポイントを 整理できる。 各ライフステージの問題点を列挙できる。				狩野
----	-------------------------	---	--	--	--	----

2025年度 3年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科保健指導 V 講師名 狩野真沙子・遠藤直美・内山綾乃 単位数 1

授業概要	歯科保健指導実践力を高めるために、 ・各ライフステージにおける歯科保健指導の知識を修得する。（思春期） ・中学校での歯科保健指導準備を通して、小集団指導方法と思春期の歯科保健指導計画や準備方法を修得する。 ・症例検討実習を通して歯科保健指導計画作成の能力を養う。（乳幼児期・老年期） ・歯科保健指導論の知識を整理する。 ・履修上の注意一持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの点検をおこなう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う） 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 歯科保健関係統計資料
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	備考
1. 5/29	中学校の 歯科保健指導実習準備 1	青年期の歯科保健指導の基礎知識を説明できる。		歯科保健関係統計資料		狩野
2. 6/6	中学校の 歯科保健指導実習準備 2	青年期の歯科保健指導の指導計画（役割分担、周知ポスター、指導案）を立案できる。		指導案作成に必要なもの		狩野
3. 6/6	乳幼児期の 症例検討実習 1	乳幼児の事例から歯科衛生問題点を見つけ、必要な指導内容を列挙できる。		保Ⅱ：乳幼児の歯科保健指導で配布したプリント DH 概論Ⅱで配布された歯科衛生過程のプリント		遠藤
4. 6/12	乳幼児期の 症例検討実習 2	各自が考えた指導内容について、グループで検討し症例に添った指導計画を立案できる。		2 年次作製した指導用媒体（乳幼児用） ＊計画立案のために使用する		遠藤
5. 6/12	中学校の 歯科保健指導実習準備 3	指導用媒体が作成できる。		媒体作成に必要な物		狩野
6. 6/12	中学校の 歯科保健指導実習準備 4	指導用媒体を作成させる。		媒体作成に必要な物		狩野
7. 6/19	乳幼児期の 症例検討実習 3	検討した指導内容を発表できる。	203	2 年次作製した指導用媒体（乳幼児用） ＊相互実習で使用する	○	遠藤
8. 6/19	中学校の 歯科保健指導実習準備 5	実施手順の再確認とリハーサルが実施できる。		実習に必要なもの		狩野
9. 7/10	老年期の 症例検討実習 1	要介護高齢者歯科保健指導の基礎知識を説明できる。		歯科衛生過程プリント 高齢者歯科、摂食嚥下リハビリテーションのテキスト		遠藤
10. 7/17	老年期の 症例検討実習 2	老年期の事例から情報の整理、歯科衛生問題の抽出、分析、解釈できる。		歯科衛生過程プリント、高齢者歯科、摂食嚥下リハビリテーション他必要なテキスト		遠藤

11. 7/24	老年期の 症例検討実習 3	歯科衛生診断から歯科保健指導 計画を討議できる。		歯科衛生過程プリント、高齢者 歯科、摂食嚥下リハビリテーシ ョン他必要なテキスト		遠藤
12. 8/20	歯磨剤の知識	歯磨剤の組成と構造について説 明できる。	TAKI 合同	事前に配布するテキスト		日本歯磨 工業会 (内山)
13. 8/21	歯科保健指導の まとめ	歯科保健指導の知識を整理でき る。		配布プリント、必要なテキスト		狩野
14. 8/28	老年期の 症例検討実習 4	歯科保健指導計画を討議し、最終 計画を立案できる。		歯科衛生過程プリント、高齢者 歯科、摂食嚥下リハビリテーシ ョン他必要なテキスト		遠藤
15. 9/5	老年期の 症例検討実習 5	検討結果を発表できる。 他者の発表を聴講し、評価でき る。	TAKI	高齢者歯科、摂食嚥下リハビリ テーションのテキスト		遠藤

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 食生活指導 講師名 高野由美子 単位数 1

授業概要	歯科衛生士が行う食生活指導の役割を理解し、食生活改善に必要な知識を学ぶ。 ・国民栄養の現状を把握し、課題に対する国の対策を学ぶ。 ・口腔疾患との関係において、適切な支援を実践するための必要な知識を習得する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
副教材	食品成分表 2020 年版 (八訂) 女子栄養大学出版部 配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月/日	項目	到達目標	備考
1.	食生活と健康Ⅰ	・日本人の食生活と疾病構造の変化を説明できる。 ・日本と世界の食糧事情を比較できる。	45分
2.	食生活と健康Ⅱ	・国民健康・栄養調査結果による、栄養素・食品群別摂取状況を述べるができる。 ・国民栄養の課題における食生活指導の必要性を説明できる。	
3.	食生活と健康Ⅲ	・日本の国民健康づくり対策について説明できる。 ・食事バランスガイドに示された「何を」「どれだけ」食べたら良いかを説明できる。 ・歯科保健における食育推進について説明できる。	
4.	ライフステージ別栄養Ⅰ	・成長期（乳児期・幼児期・学童期・思春期）における特徴と食生活上の注意点を列挙できる。	課題提出
5.	ライフステージ別栄養Ⅱ	・成人期、妊娠・授乳期、高齢期における特徴と食生活上の注意点を列挙できる。 ・高齢期における咀嚼と嚥下機能に対応した食生活について説明できる。	
6.	食品のう蝕誘発性 代用甘味料	・食品のう蝕誘発性を説明できる。 ・発酵性糖質の摂取とう蝕発生について説明できる。 ・代用甘味料の種類を類別できる。 ・低う蝕性甘味料と非う蝕性甘味料を比較できる。	
7.	食品表示	・食品表示法に基づく表示を説明できる。 ・特別用途食品と保健機能食品を説明できる。 ・う蝕予防に関わる表示と食品添加物の表示を説明できる。	
8.	食べ物と健康	・食品の分類を類別できる。 ・食物の官能特性（化学的感覚・物理的感覚）について述べるができる。 ・食べ物のデクスターとう蝕の関係を説明できる。	

2025年度 1年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科診療補助Ⅰ

講師名 松本悦美

単位数 1

授業概要	歯科診療補助を行なう上での基盤となる知識と技術および態度を修得する。 ・良質な歯科医療を提供する為に、医療安全対策の必要性和感染予防対策の基礎を理解する。 ・患者が安心・安全な歯科医療を受けられるよう環境を整える。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論 第2版、歯科機器、微生物学
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1. 5 / 13	歯科診療補助 総論	・歯科診療補助の業務内容を説明できる。 ・歯科診療補助の法的解釈を説明できる。 ・歯科診療補助における歯科衛生士の役割を説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」			松本
2. 5 / 15	医療安全と 感染予防	・医療安全の概念とその対策を説明できる。 ・インシデント・アクシデントについて説明できる。 ・偶発事故や緊急時の対応を選択できる。 ・歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 ・感染症とワケツについて説明できる。 ・スタンダード・プリーションを説明できる。 ・感染事故時の対応を判断できる。 ・医療廃棄物を分類できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「微生物学」			松本
3. 5 / 20	滅菌と消毒 1	・滅菌・消毒・洗浄について説明できる。 ・滅菌法について説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「微生物学」 「歯科機器」			松本
4. 6 / 5	滅菌と消毒 2	・消毒薬の取り扱いについて説明できる。 ・薬液をつくるために必要な薬液量の計算ができる。 ・薬品の管理方法が分かる					松本

5. 6/16		歯科診療における基礎知識	・ 歯科診療室の環境、設備について説明できる。 ・ 歯科診療所における患者対応について説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」			松本
6. 7/18		共同動作講義	・ 共同動作の目的が説明できる。 ・ 歯科診療における歯科衛生士の役割について説明できる。 ・ 術者・補助者・患者の適切なポジショニングについて説明できる。 ・ バキューム操作について説明できる。 ・ スリーウェイリッパ 操作について説明できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 顎模型（舌模型をセット） 頬粘膜ホックス	○		松本
7. 7/23		感染予防対策まとめ	・ 医療安全管理、感染予防対策、消毒滅菌法、診療室の設備、患者対応、共同動作について説明できる。（歯科診療補助Ⅰの復習）		テキスト 「歯科診療補助論」 「微生物学」 「歯科機器」			松本
8.	1-1 9/3	共同動作マニキン実習1	・ 適切な手指消毒ができる。 ・ マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 ・ 歯科用ユニットを操作できる。 ・ マニキンの取り扱いができる。 ・ 術者・補助者・患者のポジショニングができる。 ・ ライティングができる。 ・ バキューム操作ができる。 ・ スリーウェイリッパ 操作ができる。 ・ 感染予防策を実施できる。	B01	配布プリント マスク ゴーグル フェイスシールド 顎模型（舌模型をセット） 頬粘膜ホックス 器具拭き用タオル		○	松本
9.	1-2 9/2	共同動作マニキン実習2						
10.	1-1 9/8	共同動作相互実習A	・ 適切な手指消毒ができる。 ・ マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 ・ 術者・補助者・患者の適切なポジショニングができる。 ・ 適切なライティングができる。 ・ 適切なバキューム操作ができる。 ・ 適切なスリーウェイリッパ 操作ができる。 ・ 患者を安全に誘導できる。 ・ 感染予防策を実施できる。	B01	配布プリント マスク ゴーグル フェイスシールド 筆記用具		○	松本
11.	1-2 9/4							
12.	1-1 9/9	共同動作相互実習B						
13.	1-2 9/8							
14.	1-1 9/10	共同動作相互実習C						
15.	1-2 9/9							

2025年度 1年後期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科診療補助Ⅱ 講師名 小林郷子・松本悦美・長谷川里果 単位数 1

授業概要	・歯科診療の補助に必要な知識・技術・態度を修得する。 ・歯科治療で用いられる主要材料の性質、使用方法を修得する。 ・安心・安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策および、感染予防対策を実施できる。 ・ラバーダム防湿ができる。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、保存修復学・歯内療法学、歯科機器、歯科材料、小児歯科学、臨床検査法
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物、実技試験

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1.	保存修復時の診療補助1	・口腔検査に使用する器材とその取り扱いを説明できる ・前準備に使用する器材とその取り扱いを説明できる ・切削用器具・器材とその取り扱いを説明できる		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
2.	保存修復時の診療補助2	・隔壁法に用いる器具の操作ができる ・歯肉排除法に用いる器材の操作ができる ・歯間分離法に用いる器材の操作ができる	203	テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」	○		小林
3.	保存修復時の診療補助3	・コンポジットレジン修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる ・グラスアイオノマーセメント修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる ・インレー修復の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
4.	保存修復時の診療補助4（器材テスト）	・保存修復治療に使用する器材の名称と用途を説明できる					小林
5.	衛生材料	・衛生材料の用途を説明できる ・衛生材料を作製できる	203	テキスト 「保存修復・歯内療法」 ＊ハサミ、定規、ブローチ針、ブローチ針カバー	○		松本

6.	合着材、接着材 講義	- 合着材、接着材の特徴、種類、用途を説明できる - 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントの準備、計量を行うことができる	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
7.	仮封材・仮着材 講義	- 仮封材、仮着セメントの特徴、種類、用途を説明できる - 仮封材、仮着セメントの準備計量を行うことができる					
8.	歯科材料の 取り扱い実習1 （合着材、接着材、仮封材、仮着セメント練 和実習）	- 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントの練和方法を説明できる - 合着材、接着材、仮封材、仮着セメントを手順に沿って練和できる	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
9.	歯科材料の 取り扱い実習2 （合着材、接着材、仮封材、仮着セメント練 和実習） ＊実技試験含む						
10	患者対応1	- 歯科診療所における患者対応の基本について説明できる - 特別な配慮が必要な患者対応について説明できる（小児・障害者・高齢者・妊婦） ・小児・障害者・高齢者・妊婦における心身の特徴について説明できる		対外 「歯科診療補助論」 「小児歯科」 「臨床検査」			松本
11.	患者対応2						
12.	ラバーダム防湿 マニキン1	- ラバーダム防湿に使用する器材名、用途を説明できる - ラバーダム防湿に使用する器材の取り扱いができる - ラバーダム防湿ができる - ラバーダム防湿を実施する上での患者配慮について説明できる	203	対外 「歯科診療補助論」 顎模型 頬粘膜ブロック 舌模型	○		松本
13.	ラバーダム防湿 マニキン2						
14.	ラバーダム防湿 マニキン3						
15.	歯科診療補助論 まとめ	- 保存修復治療の診療の流れを説明できる - 保存修復治療時に使用する器材を説明できる - セメントの用途や特徴を説明できる。		対外 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 「歯科材料」			小林

2025年度 2年前期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科診療補助Ⅲ 講師名 小林郷子・松本悦美・長谷川里果 単位数 2

授業概要	・正確で安全な歯科医療を提供する為に、チェアサイドでの診療の介助を理解する。 ・歯科診療の補助をおこなう上で必要な治療の手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 ・歯科治療で用いられる主要歯科材料の性質、使用方法を修得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科材料、歯科機器、保存修復・歯内療法、歯周病学、歯科補綴
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物、実技試験

指導計画

回・月／日		項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	白衣	備考
1	2-1 4/18	共同動作 相互実習 A	・適切な手指消毒ができる。 ・マスク・ゴーグル・グローブを正しく着脱できる。 ・歯科用ユニットを操作できる。 ・適切なホース・シヨニングが実施できる。 ・適切なフライングができる。 ・バキューム操作ができる。 ・スリーウェイリング操作ができる。 ・器具の取り扱い・受け渡しを実施できる。 ・フォールドテクニックの基本動作を実施できる。 ・感染予防策を実施できる。	BO1	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 相互実習に必要なものの リエンション配布プリント		○	松本
2	2-2 4/16							
3	2-1 4/22	共同動作 相互実習 B						
4	2-2 4/21							
5	2-1 4/25	共同動作 相互実習 C						
6	2-2 4/23							
7. 4/21		歯内療法時の 診療補助 1	・歯髄疾患の種類と症状を説明できる ・歯髄の保存療法に使用する器材とその取り扱いを説明できる。		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
8. 4/23		歯内療法時の 診療補助 2	・麻酔抜髄法の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・根管治療に使用される薬剤を説明できる。 ・根管充填の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。		テキスト 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林

9. 4/28	歯内療法時の 診療補助3 (器材テスト)	・歯内療法に使用する器材の名称と用途を説明できる。 ・外科的歯内療法の種類、適応症および術式を説明できる。		対外 「保存修復・歯内療法」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
10. 5/9	歯周外科治療時の 診療補助1	・歯周治療の原因を説明できる ・歯周治療の流れを説明できる。		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
11. 5/12	歯周外科治療時の 診療補助2	・歯周外科治療の種類を説明できる。 ・歯周外科治療の手順を説明できる。 ・歯周外科治療に使用する薬剤や器具を説明できる。		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
12. 5/16	歯周外科治療時の 診療補助3	・歯周バックの目的を説明できる。 ・歯周バックの装着方法を説明できる。 ・歯周バックの練和ができる。 ・歯周バック装着後の患者への注意事項を説明できる。	203	対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型（下顎の歯肉を外す）、スケーラセット（ミラー、ピッケット、探針）	○		小林
13. 5/20	歯周外科治療時の 診療補助4 (器材テスト)	歯周外科治療に使用する器材の名称と用途を説明できる		対外 「歯周病学」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
14. 6/20	補綴治療時の 診療補助1	・補綴装置の種類とその構造を説明できる。 ・クラウン・ブリッジの製作手順、使用する器材とその取り扱いについて説明できる。 ・クラウン・ブリッジ治療前・治療中・治療後の患者指導ができる。		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
15. 6/24	補綴治療時の 診療補助2	・有床義歯製作の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・全部床義歯治療前・製作中・装着後の患者指導ができる。		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
16. 6/26	補綴治療時の 診療補助3 (器材テスト)	・歯科補綴治療に必要な器材の名称と用途を説明できる。		対外 「歯科補綴」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 器材ノート			小林
17. 5/22	印象材講義・実習	各種印象材の特徴を説明できる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
18. 2-1 6/3 2-2 5/30	シリコンゴム 印象材実習	・シリコンゴム印象材を使用した連合印象の手順を説明できる。 ・シリコンゴム印象材の練和ができる。	203	対外 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型、頬粘膜ブロック 配布プリント	○		小林

19.	6/4	アルジ ネット・寒天印象材講義実習	寒天印象材とアルジ ネット印象材の特徴を説明できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント	○		小林
20	2-1 6/10,11	アルジ ネット印象材練和練習 1	- アルジ ネット印象材の計量ができる - アルジ ネット印象材を練和できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント	○		小林
21	2-2 6/25	アルジ ネット印象材練和練習 2						
22	2-1 7/1	寒天・アルジ ネット印象材取り扱い実習	マニキュア上で寒天印象材とアルジ ネット印象材を用いた連合印象採得を手順通りに実施できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型 頬粘膜ボックス ドライバー 窩洞歯（Ⅰ級、Ⅱ級）	○		小林
23	2-2 7/2							
24	7/14	上下顎印象採得実習 *実技試験含む	マニキュア上でアルジ ネット印象材を用いた上下顎の印象採得を実施できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型 頬粘膜ボックス	○		小林
25								
26.	2-1 7/8	石膏講義	各種石膏の特徴を説明できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」	○		小林
	2-2 7/7							
27.	7/17	石膏注入実習	マニキュア上で採得した印象体に石膏を注入できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 顎模型 頬粘膜ボックス	○		小林
28.	9/1	TeC 講義	- 暫間被覆冠の目的を説明できる。 - 暫間被覆冠製作のために必要な器材を説明できる。 - 暫間被覆冠の製作方法を説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」			長谷川
29	2-1 9/3	TeC 製作 1	- 既製冠を利用して右上中切歯の暫間被覆冠を製作できる。 - 暫間被覆冠の目的を説明できる。 - 暫間被覆冠製作のために必要な器材を説明できる。 - 暫間被覆冠の製作方法を説明できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント 顎模型、ドライバー、 ボックスティッシュ、小筆、 鉛筆 スケラセット（ピソット、 探針、ミラー）、油性マ スク（細） マスク、ゴーグル	○		長谷川
30	2-2 9/5	TeC 製作 2						

2025年度 2年後期 実習

＜専門分野＞科目名 歯科診療補助Ⅳ 講師名 小林郷子・松本悦美・長谷川里果 単位数 2

授業概要	・歯科診療の補助をおこなう上で必要な治療の手順、薬剤および器材の使用法を修得する。 ・歯科治療で用いられる主要歯科材料の性質、使用方法を修得する。 ・口腔写真撮影の目的と取り扱い方法を修得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。 実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。 全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科機器、歯科材料、口腔外科・歯科麻酔、小児歯科学、高齢者歯科学、障害者歯科学、歯科放射線学 他
副教材	プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物、実技試験

指導計画

回・月／日		項目	到達目標	教室	持ち物	予 防 衣	白 衣	備考
1.		印象採得相互実習 Aインテンション	・印象採得の手順を説明できる。 ・印象採得時の注意事項を説明できる ・印象採得時の感染対策方法を説明できる。	203	テキスト 「歯科診療補助論」 顎模型 配布プリント	○		小林
2.		印象採得 相互実習 A	・リジネット印象材を用いて、上下顎の印象採得ができる。 ・印象採得時に患者への配慮ができる。	B01	掲示参照 配布プリント	○	○	小林
3.								
4.	印象採得 相互実習 B							
5.								
6.	印象採得 相互実習 C							
7.								
8.		小児歯科治療時の 診療補助	・小児の歯科診療時における 診療補助について説明 できる。 ・小児歯科治療に必要な 器具・材料を説明できる。		テキスト 「小児歯科」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			松本
9.		障害者歯科治療時の 診療補助	・障害者の歯科治療時における 診療補助について説明 できる。 ・障害者歯科治療に必要な 器具・材料を説明できる。		テキスト 「障害者歯科」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			松本
10.		高齢者歯科治療時の 診療補助	・高齢者の歯科治療時における 診療補助について説明 できる。		テキスト 「高齢者歯科」 「歯科診療補助論」			松本
11.		周術期における 診療補助	・周術期における診療補助に ついて説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「口腔外科・歯科麻酔」			松本
12.		エックス線撮影に おける診療補助	・エックス線撮影における診 療補助について説明できる		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科放射線」			松本

13.		口腔外科治療時の診療補助1	・普通抜歯・難抜歯の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・消炎手術・嚢胞摘出術・歯槽骨整形術に使用する器材とその取り扱いについて説明できる ・局所麻酔の手順、使用する器材とその取り扱いを説明できる。		テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
14.		口腔外科治療時の診療補助2	・局所麻酔に使用する器材（麻酔薬、注射器、注射針）の取り扱いができる。 ・切開に使用する器材（替え刃メス、メスホルダー）の取り扱いができる。 ・縫合に使用する器材（持針器・縫合糸・縫合針）の取り扱いができる。	203	テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」	○		小林
15.		口腔外科治療時の診療補助3（器材テスト）	・口腔外科治療に使用する器材の名称と用途を説明できる。		テキスト 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
16.		患者介助講義	・バイタルサインの測定方法を説明できる。 ・高齢者・障害者対応時の留意事項を説明できる		テキスト 「歯科診療補助論」 「臨床検査」			松本
17.		患者介助実習1	・バイタルサインが測定できる。 ・高齢者・障害者への対応ができる。 ・高齢者・障害者への配慮ができる。	TAKI	テキスト 「歯科診療補助論」 「臨床検査」 前回配布プリント、 アイマスク、手拭きタオル、 耳栓 ※ネットでの参加不可			松本
18.		患者介助実習2						
19.		セメントの取り扱い実習	・仮封の目的を述べることができる。 ・窩洞歯に仮封ができる。 ・接着材の使用手順を説明できる ・接着材の準備ができる	203	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント	○		小林
20.								
21.		口腔写真講義	・口腔内写真の構図を説明できる。 ・口腔内写真撮影時の注意点を説明できる。 ・口腔内写真撮影時の姿勢とポジショニングを説明できる	203	テキスト 「歯科診療補助論」	○		松本
22.		口腔写真撮影相互実習A	・規格性を持った口腔写真を撮影できる。 ・口腔写真撮影時の患者対応ができる。	BO1	前回指示通り	○		松本
23.		口腔写真撮影相互実習B						
24.		口腔写真撮影相互実習C						

25.	矯正治療時の 診療補助 1	・矯正装置の種類を説明できる ・矯正装置の用途を説明できる ・バンド合着の手順と使用器材を説明できる。 ・バンド撤去の手順と使用する器材を説明できる。		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
26.	矯正治療時の 診療補助 2	・ダイレクトボンディングの手順と使用器材の説明ができる。 ・アーチワイヤー・マルチブラケット装置の撤去の手順と使用器材が説明できる。 ・矯正装置装着前・装着時、矯正治療中・治療後の患者指導について説明できる。		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
27.	矯正治療時の 診療補助 3 (器材テスト)	・矯正治療に使用する器材の名称と用途を説明できる。		テキスト 「歯科矯正」 「歯科診療補助論」 「歯科機器」			小林
28.	歯科材料の知識 まとめ	・印象材の種類、特徴、用途を説明できる。 ・各種セメントの種類、特徴、用途を説明できる		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」 配布プリント			小林
29.	歯科臨床と診療 補助のまとめ 1	・小児歯科、障害者歯科、高齢者歯科、周術期、エックス線撮影の診療補助について説明できる		テキスト 「歯科診療補助論」 配布プリント			松本
30.	歯科臨床と診療 補助のまとめ 2	・口腔外科治療時における診療補助について説明できる。 ・歯科麻酔治療時における診療補助について説明できる。 ・矯正歯科治療時における診療補助について説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科機器」 配布プリント			小林

2025年度 3年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 歯科診療補助Ⅴ 講師名 小林郷子・松本悦美 単位数 1

授業概要	・歯科臨床と診療補助に関する知識、技能および対応を修得する。 ・履修上の注意 - 持ち物は教授要綱で確認、追加等については授業にて次回の指示をする。実習時は毎回身だしなみの確認を行なう。全時間出席が原則、欠席しないよう健康管理に気をつける。
教科書	歯科衛生学シリーズ：歯科診療補助論、歯科機器、歯科材料、保存修復・歯内療法、 歯周病学、歯科補綴学、口腔外科学・歯科麻酔学、歯科矯正学、 小児歯科学、臨床検査、微生物学、障害者歯科学、高齢者歯科学、 歯科放射線学 歯科衛生士国家試験 ポイントチェック①～⑤
副教材	配布プリント（ファイリング整理して、テキストと同様に扱う。授業に必ず持参する。）
評価方法	期末試験（筆記試験）、提出物

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	持ち物	予防衣	備考
1. 3-1：5/22 3-2：5/23	各論：医療安全	・医療安全管理、感染予防対策、消毒滅菌法、診療室の設備を説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科機器」		松本
2. 5/23	各論：歯科材料	・歯科用石膏の特徴、種類および用途を説明できる。 ・印象材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・合着材・接着材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・仮封材・仮着材の特徴、種類および用途を説明できる。 ・ワックスの特徴、種類および用途を説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科材料」		小林
3. 6/5	各論：共同動作 患者対応	・共同動作に関わる診療の補助を説明できる。 ・特別な配慮を必要とする患者への対応を説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「高齢者歯科」		松本
4. 6/5	各論：保存修復	・前準備に使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・切削用器具・器材とその取り扱いを説明できる。 ・直接修復法の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・間接修復法の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「歯科機器」		小林
5. 6/12	各論：歯内療法	・歯髄処置の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・根管処置の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。		テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「歯科機器」		小林

6. 7/3	各論:歯周外科	・歯周外科治療の手順および使用する器材とその取り扱いを説明できる。 ・歯周外科治療に使用する薬剤の種類と用途を説明できる。 ・歯周パットの種類とその取り扱いを説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯周病学」 「歯科機器」		小林
7. 7/10	各論:エックス線 臨床検査値	・エックス線撮影時の診療の補助を説明できる。 ・臨床検査の手順・検査値を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科放射線学」 「臨床検査」 昨年授業で配布した冊子		松本
8. 7/11	各論:歯科補綴	・クラウンブリッジ装着時の器材と準備を説明できる。 ・プロビジョナルレストレーションに用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・有床義歯装着時の器材と準備を説明できる。 ・顎間関係の記録に用いる器材と取り扱いを説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科補綴」 「歯科機器」		小林
9. 7/11	各論:救急救命 麻酔	・救命救急時の対応を説明できる。 ・麻酔を使用する歯科治療時の診療の補助を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「口腔外科」 昨年授業で配布した冊子		松本
10. 7/22	各論:歯科矯正	・不正咬合を説明できる。 ・不正咬合の原因を説明できる。 ・矯正装置の種類を説明できる。 ・矯正歯科治療に用いる器材と取り扱いを説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「歯科矯正」 「歯科機器」		小林
11. 7/24	歯の漂白	・漂白法の適応症を説明できる。 ・漂白法の手順を説明できる。 ・漂白法の器材・薬剤の準備ができる。 ・漂白後の術後指導の内容を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「保存修復・歯内療法」 「国家試験ポイントチェック⑤」		松本
12. 8/21	各論:小児歯科 障害者歯科	・小児歯科治療時の診療の補助を説明できる。 ・障害者歯科治療時の診療の補助を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「小児歯科」 「障害者歯科」 昨年授業で配布した冊子		松本
13. 8/22	各論:高齢者歯科 周術期	・高齢者歯科治療時の診療の補助を説明できる。 ・周術期における診療の補助を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「高齢者歯科」 昨年授業で配布した冊子		松本
14. 9/4	各論:口腔外科	・局所麻酔に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・口腔外科小手術に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・止血処置に用いる器材と取り扱いを説明できる。 ・縫合処置に用いる器材と取り扱いを説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」 「口腔外科・歯科麻酔」 「歯科機器」		小林
15. 9/5	危険予知訓練	・インシデントを説明できる。 ・アクシデントを説明できる。 ・KYT（危険予知訓練）を実施し、診療室に潜む危険を予測できる。 ・KYT（危険予知訓練）を実施し診療中の危険防止対策を説明できる。	テキスト 「歯科診療補助論」		小林

2025年度 1年後期 講義

＜専門分野＞ 科目名 臨床検査法 講師名 曽根伸治・中井未来 単位数 1

授業概要	身体の異常や症状を伴わない病気について、生体あるいは検体検査から知ること、診断の確定や治療方針の決定に利用される臨床検査を説明できる。
教科書	歯科衛生学シリーズ 臨床検査（医歯薬出版株式会社；全国歯科衛生士教育協議会監修）
副教材	
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	序論/ 検体検査の実際	病院での臨床検査の実際を画像・動画で解説するので、検査室の概要が説明できる	曽根 45分
2.	1章/ 臨床検査と歯科衛生士の役割	臨床検査の種類と概要および臨床判断値について説明できる	曽根
3.	3章/ 血液学的検査	- 採血方法および検体の取り扱いを理解して、説明できる - 血球数カウントなどの血液検査の基本を理解して、説明できる - 血栓止血検査の概要を理解して、説明できる	中井
4.	5章/ 肝機能の検査 6章/ 腎機能の検査 尿一般検査	- 肝機能、腎機能の検査を理解して、説明できる - 尿一般検査が実施でき、その結果を解釈できる	中井
5.	7章/ 糖尿病検査 8章/ 代謝・内分泌の検査	- 糖代謝の検査を理解して、説明できる - ホルモン検査を理解して、説明できる	中井
6.	2章/ 生理機能検査（実習） 血圧測定、生理検査の実際	- 体温、脈拍、血圧測定ができる - 生理機能検査（心電図、酸素飽和度など）の概要が説明できる	曽根 TAKI
7.	2章/ 生理機能検査 4章/ 感染症検査	- 呼吸および肺機能検査が説明できる - 細菌検査を理解して、説明できる - ウイルス感染症検査を理解して、説明できる	曽根
8.	9章/ 免疫・血清学的検査（実習の講義） 血液型検査 10章/ 病理検査 11章/ 画像検査 X線・CT・超音波・内視鏡	- 炎症、アレルギーおよび自己免疫疾患検査を理解して、説明できる - 血液型検査および輸血に必要な不規則抗体や交差試験を理解して、説明できる - 病理検査を理解して、説明できる - X線・CT・超音波・内視鏡などの画像検査を理解して、説明できる	曽根

授業時間 水曜日 1-1組は9:00～10:30、1-2組は10:40～12:10

2025年度 3年前期・後期

＜専門分野＞ 科目名 医療保険事務

講師名 田澤栄美

単位数 1

授業概要	保険診療の概念を理解し、医療保険制度の体系について習得する。 歯科衛生士が関わる歯科診療報酬について理解する。 ⇒保険証、電卓を持参（スマートフォンは不可）
教科書	「歯科診療報酬入門 2024－2025」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 8/22	医療保険制度の概要と 保険点数表総論①	日本の医療保険制度について説明できる。 歯科保険点数の概要を説明できる。 主な傷病名の略称を正確に記述できる。	
2. 9/4	保険点数表総論②と 算定ルール	主な診療行為の略称を正確に記述できる。 歯科保険点数算定のルールについて概要を説明できる。 カルテの作成ができる。	保険証 持参
3. 9/5	歯科衛生士に関係する 項目①	歯周治療の流れを説明できる。 保険診療における歯周治療の項目と算定方法を説明できる。	電卓持 参
4. /後期	歯科衛生士に関係する 項目②		
5. /後期	歯科衛生士に関係する 項目③		
6. /後期	事例演習①		
7. /後期	事例演習②とまとめ		
8. /後期	期末試験（50分） 終了後解説（30分）	期末試験と試験解説	

2025年度 1年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 臨地実習Ⅰ 講師名 各臨地実習指導者 単位数 前・後期1

授業概要	・学内で学ぶ知識や技術が、臨床でどのように応用されているかを理解する。 ・歯科衛生士の役割を学ぶ。 －履修上の注意点－ 1. 以下のような行為があった場合は学則第22条に基づき懲戒する。 ・臨地実習ノートの記録紙の検印や署名に不正があった場合 ・臨地実習ノートの記録内容に偽造があった場合 ・その他不正とみられる行為があった場合 2. 感染対策上、行動自粛がみられない場合は、外部での実習が中止となることがある。
教科書	なし
副教材	プリント
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する。 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する。

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	備考
1.	5/26	基礎実習カリキュレーション① (203ルール、身だしなみ)	203	・入学カリキュレーション冊子 ・歯科診療補助論対士 ・教授要綱 ・予防衣、実習シューズ、マスク着用 ・ハンドタオル ・爪切り ・スタンドミラー	担当者
2.		基礎実習カリキュレーション② (手洗いの確認、日常手洗い法)	203		
3.	6/2	マニキンの取り扱い実習	203	・歯科予防処置論対士 ・予防衣、実習シューズ、マスク着用 ・顎模型、頬粘膜ブロック、舌模型、ドライバー ・シフトマニキン ・シフトマニキン用カバーシート ・配布プリント	(株) ニッシン 担当者
4.	6/30	相互実習室のルール① (B01のルール、衛生的手洗い法、機器・器材の扱い)	B01	・白衣、実習シューズ、マスク、ゴーグル、フェイスシールド着用、髪をまとめ身だしなみを整える ・配布プリント	担当者
5.	7/14	相互実習室のルール② (準備・片付け)	B01		担当者

2025年度 2年前期 実習

＜専門分野＞ 科目名 臨地実習Ⅱ 講師名 遠藤直美 単位数 前・後期4

授業概要	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導をおこなう。 履修上の注意点：感染対策上、行動自粛ができない場合は、外部での実習が中止となることがある。
教科書	なし
副教材	プリント
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する。 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する。

指導計画

2-1 実習の場：北区立西ヶ原保育園

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/21	保育園実習練習1	集団指導での伝え方の工夫ができる。	
2. 5/23	保育園実習練習2	集団指導をより良いものにできる。	
3. 5/30	保育園 歯科保健指導実習	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導において、その特徴と方法を説明できる。	フィードバックおよび課題を含む

指導計画

2-2 実習の場：キッズタウン東十条保育園

回・月/日	項目	到達目標	備考
1. 5/21	保育園実習練習1	集団指導での伝え方の工夫ができる。	
2. 5/23	保育園実習練習2	集団指導をより良いものにできる。	
3. 6/3	保育園 歯科保健指導実習	幼児期後期の集団および個別の歯科保健指導において、その特徴と方法を説明できる。	フィードバックおよび課題を含む

2025年度 3年前・後期 実習

＜専門分野＞ 科目名 臨地実習Ⅲ 講師名 各臨地実習指導者 単位数 前・後期 15

授業概要	各実習のオリエンテーションの通り 履修上の注意点-1、以下のような行為があった場合は学則第22条に基づき懲戒する ・臨地実習ノートの記録紙の検印や署名に不正があった場合 ・臨地実習ノートの記録内容に偽造があった場合 ・その他不正とみられる行為があった場合 2、感染対策上、行動自粛がみられない場合は、外部での実習が中止となることがある
教科書	必要に応じて準備
副教材	臨地実習ノート、配布プリント 他
評価方法	出席状況、実習到達度、提出物で評価する 欠席・遅刻・早退については補充しなければ単位認定されないので留意する

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	持ち物	備考
1 4/7	I期臨地実習オリエンテーション	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
2 4/9	第二種 感染管理者認定資格研修	・歯科医療現場における高度な感染制御の知識を得る ・第二種感染管理者認定を受けることができる	教室	後日案内	8時間
3 4/18	認知症サポーター認定研修	・認知症への理解と支援の心を持てる ・認知症サポーター認定を受けることができる	教室	後日案内	4時間
4 4/18	障害者、有病者歯科診療施設 実習オリエンテーション	障害者、有病者の歯科診療実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
5 4/11 ～ 7/16	I期臨床実習 (一般歯科診療所・他)	臨地実習ノート P2 より到達目標を確認すること	各施設	臨地実習ノート オリエンテーション資料	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間)
6 5/9	歯科工場見学実習 株式会社モリタ東京製作所	・歯科企業で働く歯科衛生士の役割を理解する ・歯科用医療機器の開発、製造について知る	施設	臨地実習ノート 概要プリント レポート12	8時間
7 /	障害者、有病者歯科診療施設 実習 *実習日は学生により異なる(6日間)	障害者、有病者の特徴を理解し、歯科衛生士としての役割を理解する	各施設	臨地実習ノート オリエンテーション資料	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間)
8 /	健康支援センター実習該当者 オリエンテーション	I期健康支援センター実習について	教室	臨地実習ノート	遠藤

9 6/19	I 期臨床実習終了リインターン	I 期臨床実習終了にあたり ・提出物について ・臨地実習ノートまとめ ・レポートについて	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
10 7/4	中学校保健指導実習	青年期の特徴を理解し、保健指導が行える	施設	後日案内	狩野 8 時間
11 7/17	I 期臨床実習まとめ	・ I 期院内感染防止対策に関する考察ができる ・ I 期臨床実習を振り返り、II 期に向けて目標を持てる ・ 補充実習に関して把握できる	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
12 7/18	人体解剖・病院見学実習	神奈川県立歯科大学 神奈川県立歯科大学附属病院	施設	概要プリント レポート	8 時間
13 7/23	II 期臨床実習リインターン①	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
14 /	II 期臨床実習医院へ開始の挨拶	/ () ~ / () までに II 期臨床実習医院へ挨拶に行く (先方の都合に合わせる) ・「登院時間」 ・「出入口」 ・「ロッカーの場所」などを確認できる	各施設	臨地実習ノート	
15 8/20	II 期臨床実習リインターン②	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
16 8/20	矯正歯科実習リインターン	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる 臨地実習ノート P2 より到達目標を確認すること	教室	概要プリント	狩野・内山
17 8/29	歯科企業見学実習 株式会社 GC コーポレートセンター	・ 歯科企業で働く歯科衛生士の役割を理解する ・ 歯科材料の正しい取り扱い方法を習得する ・ 最新の歯科器材、歯科機器を知る	施設	臨地実習ノート 概要プリント レポート 13	8 時間

18 8/25 ～ 11/7	Ⅱ期臨床実習 (一般歯科診療所・他)	臨地実習に向けて、実習規則を理解し、心構えができる 臨地実習ノートP2より到達目標を確認すること	施設	臨地実習ノート	指導歯科医師 指導歯科衛生士 (1日8時間) 8時間
19 10/30	Ⅱ期臨床実習終了前 オリエンテーション	Ⅱ期臨床実習終了にあたり ・提出物について ・臨地実習ノートまとめ ・レポートについて	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
20 11/10	Ⅱ期臨地実習まとめ①	Ⅱ期臨床実習を終えて Ⅱ期院内感染防止対策考察	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
21 11/13	Ⅱ期臨地実習まとめ②	Ⅱ期臨床実習報告 補充実習について	教室	臨地実習ノート	狩野・内山
22 12/2	日本歯科審美学会セミナー	審美歯科について ・審美歯科とは何か理解する ・関係する知識を深める ・ホワイトニング剤について ・役割を知る ・認定制度を知る	教室	後日案内	狩野・内山 4時間

※後期日程・項目に関しては、進行状況により変更を生じる可能性がある。

2025年度 1年前期 講義・演習

<選択必修> 科目名 総合研究Ⅰ 講師名 田澤栄美

単位数 1

授業概要	・歯科衛生士による研究の意義を理解し、興味を持ったテーマについて調べ、まとめる。 ・歯科衛生士が研究を行なう上で必要なことを習得する。 ・他者の調べ学習を聴くことで（グループワーク）知識を共有する。 <履修上の注意点> ・授業の目的を理解し、自ら目標を立て、意欲的に取り組む。 ・小研究は計画的に進める。 ・「情報コミュニケーションⅠ」同様、課題作品は、校内ネットワークサーバー（Zドライブ）の各自フォルダ内とUSBメモリに保存する。（USBメモリは各自で用意し持参する）
教科書	なし
副教材	配布する「冊子」を教科書同様の扱いとする。毎回持参する。
評価方法	小研究レポート作成修了、データの保存状態 提出物（遅れ：1日1点減点、不備：減点あり） 出席状況（欠課：1時間2点減点、遅刻早退：1回1点減点）で評価

指導計画

回・月/日	項目	到達目標	教室	備考
1. 4/30	オリエンテーション	・研究活動の意義を説明できる。 ・総合研究Ⅰの授業の概要を知る。	各教室	45分
2. 5/9	研究活動の基本	・情報収集法を説明できる。 ・図書の利用法やレポートの記入方法のルールを説明できる。 ・小研究テーマをイメージできる。	TAKI	
3. 5/27	研究活動1	・小研究テーマを考えることができる。 ・小研究テーマに沿った情報収集ができる。 ・小研究レポートの構成と記述の仕方を知る。	TAKI	
4. 6/24	研究活動2	計画書に沿って情報を整理できる。	TAKI	構成計画書 提出 6/23
5. 7/1	研究活動3	Wordを使用し、小研究レポートを作成できる。	TAKI	
6. 7/8	研究活動4	小研究レポートを作成できる。	TAKI	
7. 9/3	研究活動5	小研究レポートを作成できる。	TAKI	
8. 9/10	研究活動6	・グループワークでレポートの発表ができる。 ・他者の発表を聞き視野を広げることができる。 ・小研究の自己評価ができる。	TAKI	授業時間内に レポート提出

●授業は「情報コミュニケーションⅠ」と連携の上、進める。

2025年度 2年後期 講義・演習

＜選択必修＞ 科目名 総合研究Ⅱ 講師名 星 貴子・儀我 有子 単位数 1

授業概要	・ 歯科衛生士による研究の意義を理解し、1年次よりさらに興味を持ったテーマについて深く調べてまとめ、発表を行なう。 ・ 授業の目的を理解し、自ら目標を立て、意欲的に取り組む。 ・ 課題作品は、校内ネットワークサーバーの各自フォルダ内とUSBメモリに保存する。
教科書	配布冊子を教科書同様の扱いとする。
副教材	なし
評価方法	小研究レポートおよび発表資料作成と発表の修了、データの保存状態、提出物（遅れ：1日1点減点）、出席状況（欠課：1時間2点減点、遅刻早退：1回1点減点）で評価する。

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1.	小研究活動の基本	・ 総合研究Ⅱの授業概要を知る。 ・ 復習-情報収集法、図書の利用法、レポートの記入方法のルールを説明できる。 ・ テーマをイメージできる。 ・ 計画書の作成方法を知る。 ・ レポート作成および発表に必要なファイルを作成する。	TAKI USBメモリ 教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』
2.	小研究活動1	・ テーマに関する情報を収集する。 ・ 計画書を作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
3.	小研究活動2	・ テーマに関する情報を収集する。 ・ 計画書を作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
4.	小研究活動3	・ テーマに関する情報を収集する。 ・ 計画書を仕上げる。	TAKI USBメモリ、冊子
5.	小研究活動4	・ テーマに関する情報を収集する。 ・ レポートを作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
6.	小研究活動5	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
7.	小研究活動6	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
8.	小研究活動7	レポートを作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
9.	小研究活動8	・ レポートを作成する。 ・ 発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・ 発表資料（原稿）を作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
10.	小研究活動9	・ レポートを作成する。 ・ 発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・ 発表資料（原稿）を作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
11.	小研究活動10	・ レポートを作成する。 ・ 発表資料（パワーポイント）を作成する。 ・ 発表資料（原稿）を作成する。	TAKI USBメモリ、冊子
12.	小研究活動11	発表に向けてレポート、原稿、パワーポイントなどを整える。	TAKI USBメモリ、冊子
13.	プレゼンテーションA	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203
14.	プレゼンテーションB	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203
15.	プレゼンテーションC	小研究結果を発表する。 発表を聴講する。	201・203 202・203

2025年度 3年前期 講義・演習

＜選択必修＞科目名 総合研究Ⅲ

講師名 佐々木ひろみ・儀我有子

単位数 前・後期 1

授業概要	1,2 年時の歯科保健指導・歯科予防処置の実習記録を基に、自らの口腔保健行動を振り返り、分析し、今後に活かせる目標と計画を立て、レポートとしてまとめる。 - グループワークにより、他者への伝え方を学び、他者の話を聴くことで知識を共有する。 - 履修上の注意 - 授業の目的を理解し、自ら目標を立て、計画的に取り組む。 - 臨床歯科医学科目研究として学び得たことの理解を深める為に、学生が主体的に臨床歯科医学科目の要点をまとめ、発表できる準備をする。
教科書	
副教材	備考参照
評価方法	後期に評価を出す。 事例研究発表資料作成およびグループワークの修了、提出物（遅れ：1 日 1 点減点）、出席状況（欠課：1 時間 2 点減点、遅刻早退：1 回 1 点減点）で評価

指導計画

回・月／日	項目	到達目標	教室	備考
1. 5/15	事例研究 1 （口腔保健行動レポート：オリエンテーション）	3 年次の総合研究授業計画を知る。 - 総合研究の概要を述べることができる。 - 予防と保健行動の計画作成のために情報収集ができる。		
2. 5/16	事例研究 2 （口腔保健行動レポート：準備 1）	- 収集した情報の整理ができる。 - 整理した情報を分析し、口腔の保健行動における問題を明確にできる。	TAKI	担当：儀我 1,2 年時の実習記録全て USB メモリ「総合研究Ⅲ」の冊子 構成計画書提出 5/23 事例研究レポート提出 7/17
3. 5/23	事例研究 3 （口腔保健行動レポート：準備 2）	目標に合わせた予防方法や保健行動を計画することができる。		
4. 5/30	事例研究 4 （口腔保健行動レポート：準備 3）	レポート作成ができる。		
5. 6/ 6	事例研究 5 （口腔保健行動レポート：準備 4）	資料の最終確認を行い、レポートとしてまとめ、グループワークに備えた知識を述べるができる。		
6. 7/ 3	事例研究 6 （口腔保健行動レポート：グループワーク）	- グループワークでレポートの発表ができる。 - 作成したレポートの自己評価ができる。 - 他者の発表について感想を述べることができる。		
7. 7/10	臨床歯科医学科目：研究 1	- 学生主体の演習について知る。 - 担当する臨床歯科医学科目の演習立案ができる。（方法、資源） - 演習の準備をする。（担当する科目は事前に掲示にて周知）	TAKI	担当：佐々木 担当科目のテキスト、国家試験対策本ポイントチェック、必要資料 USB メモリー
8. 7/22	臨床歯科医学科目：研究 2	演習の準備をする。		
9. 8/21	臨床歯科医学科目：研究 3	演習の準備をする。		
10. 9/4	臨床歯科医学科目：研究 4	演習の準備をする。 国試形式オリジナル問題を作成する。		

11. 後期	臨床歯科医学科目 ：研究 5	発表の準備をする。(PP 作成) レポートを整え、提出できるようにする。	TAKI	担当：佐々木 担当科目のテキスト、 国家試験対策本、ポイントチェック、 必要資料 USB メモリー
12. 後期	臨床歯科医学科目 ：研究発表	研究結果を発表する。 研究発表を聴き、参加する。		
13. 後期	臨床歯科医学科目 ：研究発表	研究結果を発表する。 研究発表を聴き、参加する。		
14. 後期	臨床歯科医学科目 ：研究発表	研究結果を発表する。 研究発表を聴き、参加する。		
15. 後期	臨床歯科医学科目 ：研究発表	研究結果を発表する。 研究発表を聴き、参加する。		

※後期日程・項目に関しては、進行状況により変更を生じる可能性がある。

2025年度 2年前期 講義

＜選択必修＞科目名 口腔リハビリテーション論 講師名 中根綾子 須佐千明 単位数 1

授業概要	日本は超高齢社会を迎えており、高齢者の誤嚥性肺炎や窒息が問題となっている。摂食嚥下リハビリテーションは、口腔衛生のプロとしての歯科衛生士が重要な役割を果たすと考えられる。また、摂食嚥下訓練においても歯科衛生士の活躍が期待されている。講義を通じて、摂食嚥下のメカニズムを学び、リハビリテーションの概念や歯科衛生士に必要な基礎的知識を習得する。
教科書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版
副教材	プリント
評価方法	期末試験

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	備考
1. 6／5	摂食嚥下とは	摂食嚥下の5期やメカニズムを説明できる	中根 TAKI ホール
2. 6／5	摂食嚥下障害 スクリーニング	摂食嚥下障害のスクリーニング方法を説明できる	中根
3. 6／13	疾患別の摂食嚥下障害の特徴	摂食嚥下とその障害を説明できる	須佐 TAKI ホール
4. 6／13	摂食嚥下障害の診察	摂食嚥下障害の診察方法を説明できる	須佐
5. 6／19	摂食嚥下障害の訓練（間接訓練）	多様な間接訓練を説明できる	中根 TAKI ホール
6. 6／19	摂食嚥下障害の訓練（直接訓練）	多様な直接訓練および、障害の概念、スキルの概念を説明できる	中根
7. 6／20	摂食嚥下障害への対応（入院患者）	VFの結果を理解し、入院患者への対応を説明できる	須佐 TAKI ホール
8. 6／20	摂食嚥下障害への対応（往診患者）	VEの結果を理解し、往診患者への対応が説明できる	須佐 45分

2025年度 2年後期 演習

＜選択必修＞ 科目名 口腔リハビリテーション技術 講師名 堀口由紀子 単位数 2

授業概要	超高齢社会において、さまざまな疾患・身体状況・精神状況・生活環境を把握し、口腔衛生管理・口腔機能管理の両面からのアプローチは、口腔健康管理において非常に重要である。それを踏まえた上で、口腔リハビリテーションの知識と技術を習得する。また、摂食嚥下障害における食事指導・食支援について習得する。
教科書	「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」 「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」
副教材	配布プリント
評価方法	期末試験（筆記試験）

授業計画

回・月／日	項目	到達目標	各自準備	学校準備
1.	口腔機能について	- 摂食嚥下で口腔機能を体感し、摂食嚥下のプロセスを説明できる。 - オーラルフレイル、口腔機能低下症について説明できる。	水入りペットボトル コップ 手鏡 煎餅 1 枚	
2.	口腔健康管理の概要	- 口腔衛生管理、口腔機能管理について説明できる - 多職種連携について説明できる。 - 歯科衛生過程について説明できる。 - 状態把握に必要なバイタルサインや検査について説明できる。		
3.	各疾患における口腔健康管理	各疾患の口腔関連症状と口腔健康管理の留意点について説明できる。		
4.	各ステージにおける口腔健康管理	周術期、急性期、回復期、慢性期、終末期における口腔健康管理の対応について説明できる。		
5.	口腔衛生管理実習 1	高齢者や麻痺の疑似体験から口腔衛生管理の留意点が説明できる。	【予防衣】 フェイスシールド 水入りペットボトル 計量カップ 紙コップ 3 個 （1 個には水 50 ml を入れておく） スプーン 手鏡 ティッシュ 浴用タオル うがい吐き出し容器（牛乳パックの下 10 cm 残して上をカットしたもの）	ミニトレー タフト歯ブラシ（ESS） スポンジブラシ グローブ トロミ剤 保湿ジェル ガーゼ アルコール綿 ゴミ袋
6.	口腔衛生管理実習 2	口腔内拡張、唾液腺マッサージ、スポンジブラシ、保湿剤、舌ケア等、基本的な口腔衛生管理ができる。		
7.	口腔衛生管理実習 3	- 吸引方法について説明できる。 - 車椅子、ベッド上での口腔衛生管理の留意点が説明できる - 義歯の着脱方法、取り扱いについて説明できる。	【白衣】 水入りペットボトル	マナポット ベッド（2） 車椅子（1） 枕（2） クッション（4） バスタオル（2） グローブ
8.	実際の口腔健康管理	- 症例に合わせた口腔清掃用具を分類できる。 - 実際の症例から、課題を列挙できる。		

9.	間接訓練実習 1	- 嚥下体操ができる。 - 摂食嚥下訓練における刺激法が類別できる - 筋刺激訓練法について説明できる。		グローブ
10.	間接訓練実習 2	- 嚥下促通訓練について説明できる。 - 声門閉鎖訓練について説明できる。 - 呼吸訓練について説明できる。 - 食道入口部開大訓練について説明できる。		
11.	直接訓練実習 1	- 直接訓練の基本姿勢が説明できる。 - 直接訓練法について説明できる。 - 補綴的対応方法について説明できる。	ヨーグルト ゼリー スプーン 50 mlのお茶 コップ マスク フェイスシールド	グローブ トロミ剤
12.	直接訓練実習 2	- 摂食嚥下機能に合わせた食事介助について説明できる。 - 経口摂取の代償による栄養摂取方法について説明できる。 - 嚥下調整食やとろみ調整食品について説明できる。		
13.	成人の摂食嚥下障害における食事指導・食支援	成人の摂食嚥下障害における食事指導、食支援について説明できる。		
14.	発達期の摂食嚥下機能と摂食嚥下障害	- 発達期の摂食嚥下機能、摂食嚥下障害について説明できる。 - 口腔機能発達不全症について説明できる。		
15.	症例検討 まとめ	事例検討を行い、ケアプランを作成することができる。		

2025年度 1年前期 講義

＜選択必修＞ 科目名 レクリエーション論 講師名 池田雅彦 単位数 1

一般目標	レクリエーションとは何か。レクリエーションサービスの考え方とレクリエーション支援の構造を理解し、個人・集団での楽しさの本質を模擬的体験学習（学習）の中で、生活のレクリエーション化という視点での『生きがいづくり』を考える。ゲーム創作を行う上で、チームワークを理解し自ら考えて行動することを認識する。
教科書	なし
副教材	ワークシート、プリント、映像教材など
評価方法	ゲーム創作シートおよび期末試験（レポート）にて評価する
履修上の注意点	・授業では、できる限り相互の関係づくり中心に実習を行う。 ・相互に意見交換を行い、互いの考えを理解できるようにする。 ・ゲーム創作は、チームワーク実践で行う。

指導計画

回	月／日	項目	到達目標	備考
1	4/15	レクリエーション概論	レクリエーションとは何か。アイスブレイクの意味と効果について説明できる。自己理解と他者理解について説明できるようにする。	TAKI ホール 実技含む
2	4/22	レクリエーション財(材)の理解①	レク材の持つ効果の「楽しさの本質」について説明できるようにする。チームワークとは何か、を自分で考え行動できることを認識する。	TAKI ホール 実技含む
3	5/8	レクリエーション財(材)の理解② ゲーム創作(1)	高齢者におけるレクリエーション支援の構造について理解し、「生きがいとは何か」について考えていく。	TAKI ホール 実技含む
4	5/22	高齢者におけるレクリエーション支援を考える ゲーム創作(2)	高齢者レクリエーションゲームの創作実習を行い、目的や効果的なリード方法を考え、ゲームを完成させる。	TAKI ホール 創作ワーク
5	5/27	福祉レクゲームの分析①	高齢者レクリエーションゲームの実際からそのゲームのねらいや楽しさ、安全面の配慮等の分析・評価ができるようにする。	TAKI ホール 創作ワーク 実習①
6	6/3	福祉レクゲームの分析②	高齢者レクリエーションゲームの実際からそのゲームのねらいや楽しさ、安全面の配慮等の分析・評価ができるようにする。	TAKI ホール 実習②
7	6/10	福祉レクゲームの分析③	高齢者レクリエーションゲームの評価とまとめ	TAKI ホール 実習③
8	7/1	レクリエーション論 前期試験	前期試験	TAKI ホール 50分合同試験

＜授業目的＞

歯科衛生士が歯科保健指導を行なう上で、高いコミュニケーション能力が求められている。個別・集団・幅広い年齢層・どんな場面でも対応できるよう、ひとつの手段としてレクリエーションのスキルを、体験を通じて習得する。